

第6次江差町総合計画

令和4年度 実施計画

見える化資料

第2期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点目標に関連する事業一覧（抜粋）

No	3つの重点目標	指標名	基本 目標	分野別 施策	事業名	ページ
1	江差文化体験交流づくりで仕事をつくる	観光入込客数	1	6	DMOの組織運営強化	1
2	江差文化体験交流づくりで仕事をつくる	観光入込客数	1	6	「江差を発信する」	5
3	江差文化体験交流づくりで仕事をつくる	来訪者満足度	1	6	「江差を磨く」	11
4	江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる	医師研究資金貸与件数	2	12	2次医療圏の地域医療体制構築の検討	16
5	江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる	医師研究資金貸与件数	2	12	継続可能な地域医療体制の確立	18
6	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数	1	3	販売戦略の推進	20
7	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	新規漁業就業者	1	3	担い手の育成	22
8	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	新規就農・法人参入の推進	1	1	担い手の育成、確保	24
9	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	水産物販売額（1人あたり）	1	3	栽培漁業定着推進（資源づくり）	26
10	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	水産物販売額（1人あたり）	1	3	広域的漁業生産基盤の確立	31
11	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	農産物販売額（1人あたり）	1	1	販売戦略の推進	33
12	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	農地集積率	1	1	農地流動化対策の推進	35
13	江差文化体験交流づくりで仕事をつくる	観光入込客数	2	16	博物館活動の推進	37
14	江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる	空き店舗利活用件数	3	19	全体的な土地利用の推進	39
15	江差ブランド製品づくりで仕事をつくる	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数	1	4	・ふるさと納税の推進 ・地場資源を活用した工業振興の支援	41

事業名	DMOの組織運営強化	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

事業概要

- (1) 観光地域づくり法人（DMO）を中心として観光地域づくりを行うことについての多種多様な関係者の合意形成
- (2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定、PDCAサイクルの確立
- (3) 地域の魅力向上に資する観光資源の磨き上げや域内交通を含む交通アクセスの整備、多言語標記等の受入環境の整備等の着地整備に関する地域の取組の推進
- (4) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーションを展開

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプラン（計画期間2021年～2023年）を策定し、「アクションプランによりDMOの本登録の実現」・「数値目標（KPI）」を定め、『江差を磨く』・『江差を発信する』・『江差に誘う』・『江差で憩う』・『江差を経営する』といった各施策それぞれの目的に沿って事業の展開を図り、観光地域づくりの一主体として個別事業を実施する。

実績と課題

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプランに基づき、目標に係る指標などの数値をアンケート調査等により分析して数値化を図り、コロナ禍の影響がありましたが、「江差マリンピング」の開発から運用へ移行し付帯する体験プログラムなど追加コンテンツによる、多様なニーズへの対応を実施した。この他にも江差のアンテナショップ「ぷらっと江差」の売上向上などを通して、地域の関係者による組織全体の運営機能強化が図られた。全体を通して、戦略の策定やデータ収集・分析等の専門人材として池ノ上教授（北海商科大学）へ委託を行い、安定的な運営を図るための検討協議を実施している。

また、一般社団法人 北海道江差観光みらい機構は、令和4年1月21日に観光庁へDMO登録の申請を行い3月28日付で、道南では初めて観光庁へ登録された。これにより、さらなる各施策事業において体制強化を図ることと、観光地域づくりの活動と実施と成果が求められる。

また、満足度70%以上で本アンケート調査より5割近いリピーター率となっており、効果的な事業が実施できていることから引き続き継続して同様の事業を実施していく。

今後について

観光地域づくり法人（DMO）として、関係者による観光地域づくりの現場を効率的に動かしていくためのプロジェクト・マネジメントが重要であり、事業の企画立案・関係者への合意形成・資金等の必要な事業運営費の確保・予算執行管理・スケジュール管理・地域人材の育成と確保・調査分析・PDCAサイクルの実施などが求められる。さらには、江差町の観光振興やインフラ整備、各種規制との調整も必要となる。また、「江差マリンピング」に付帯する体験プログラム等においては、近年、全国的にマリンスポーツ愛好者も増えていて、SUPやマリジェットなどを活用したレジャー目的で、かもめ島周辺（江差の海）を求めて来町する愛好者も多いことから、この資源を強みとして活用すると同時に、独自にローカルルールを定めるなど、歴史や文化を活かした観光地と、マリンレジャー地としての共存共栄することが重要であり、安心安全に誰もが訪れることが出来る観光地域づくりとして観光振興による地域経済の発展『エエ町、江差。』を目指していかなければならない。

事業名	DMOの組織運営強化	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

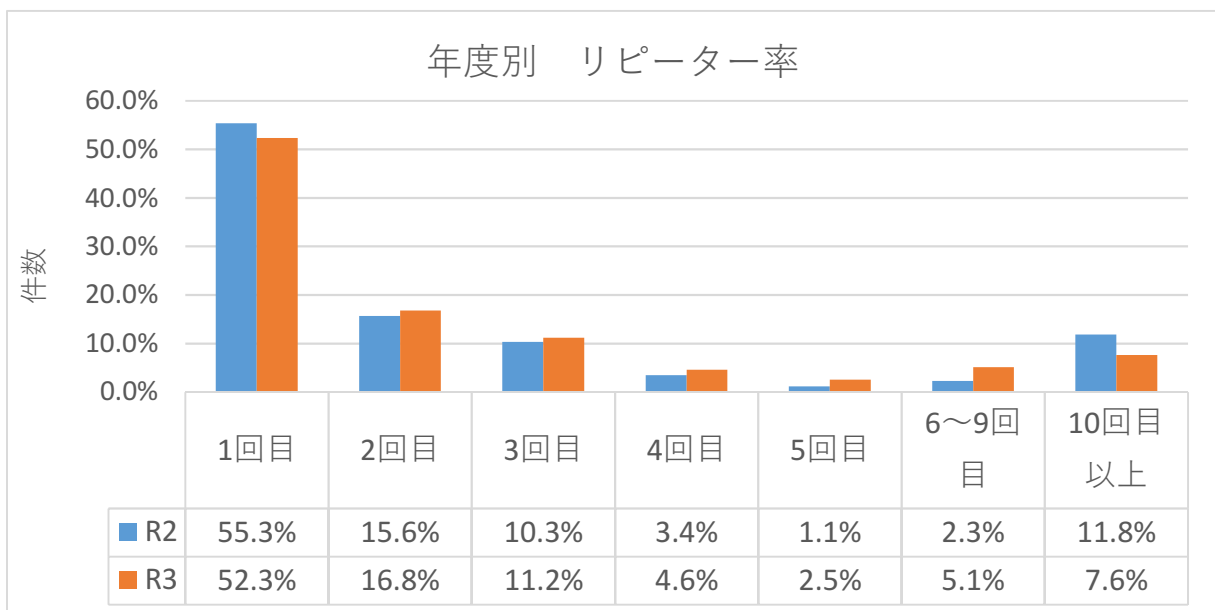
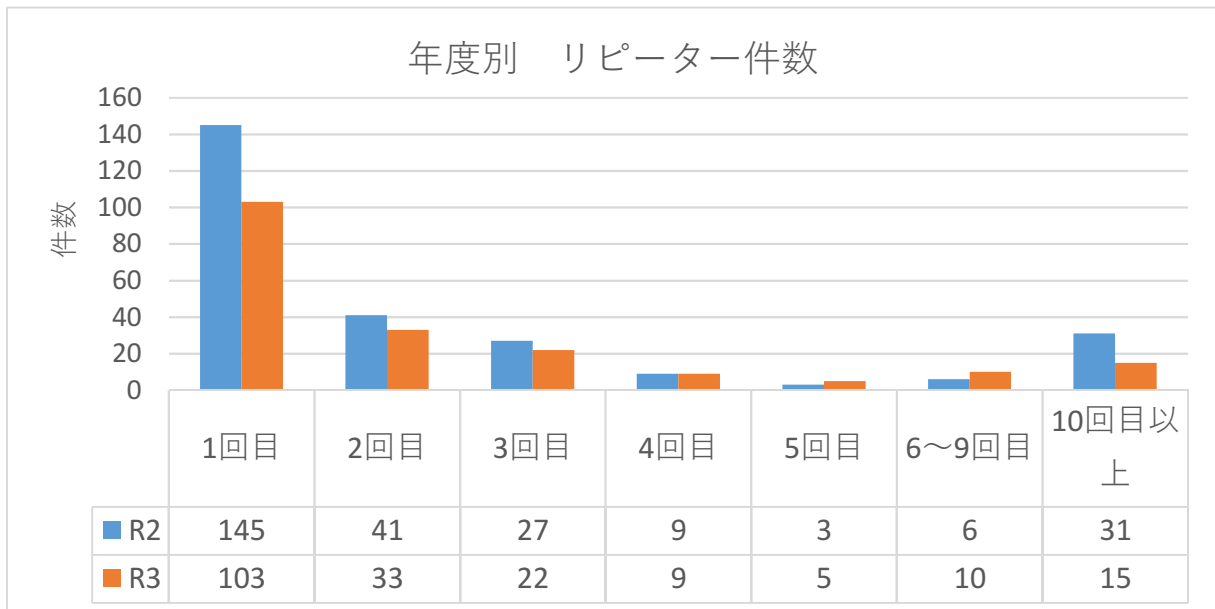
見える化資料

■観光客向けアンケート実施概要

- 実施場所：江差町観光情報総合案内所（開陽丸青少年センター）
- 実施方法：案内所に回答用紙を設置し、案内所職員が観光客へ声掛けする他、回答者に五勝手屋ミニ丸缶羊羹1本を贈呈。（1グループ1本）
- 実施時期：4月～3月末（R2年度は6月1日から開始）
- 回収数：R2年度266件、R3年度198件

■リピーター率

項目	R2年度	R3年度
回答数	262	197
平均回数	2.34	2.34



事業名	DMOの組織運営強化	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

見える化資料

■来訪者満足度

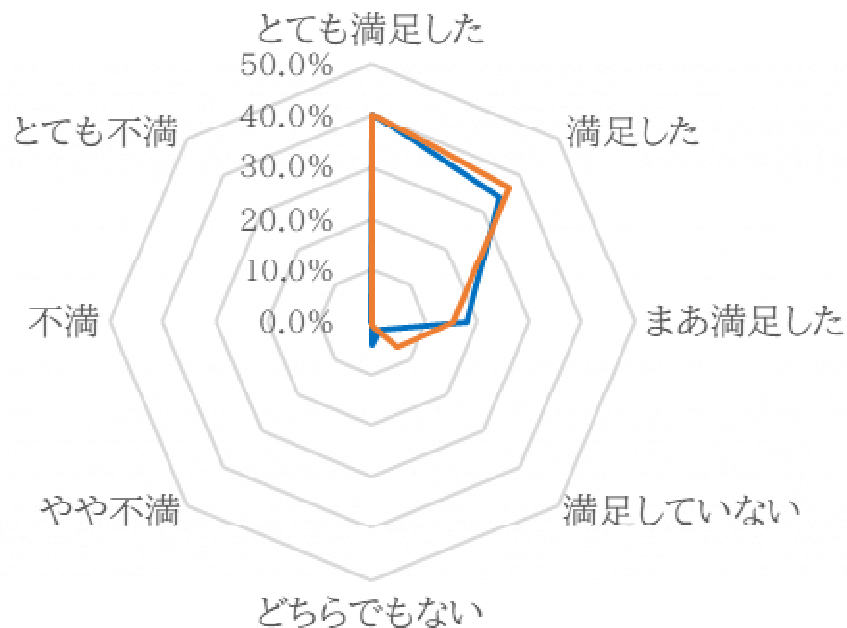
項目	R2年度	R3年度
回答数	196	157

選択肢	R2年度		R3年度		昨対比
	件数	構成比率	件数	構成比率	
とても満足した	79	40.3%	63	40.1%	79.7%
満足した	67	34.2%	58	36.9%	86.6%
まあ満足した	35	17.9%	24	15.3%	68.6%
満足していない	4	2.0%	11	7.0%	275.0%
どちらでもない	9	4.6%	1	0.6%	11.1%
やや不満	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
不満	1	0.5%	0	0.0%	0.0%
とても不満	1	0.5%	0	0.0%	0.0%
合計	196	100.0%	157	100.0%	

「満足した」以上 146 74.5% 121 77.1% 103.5%

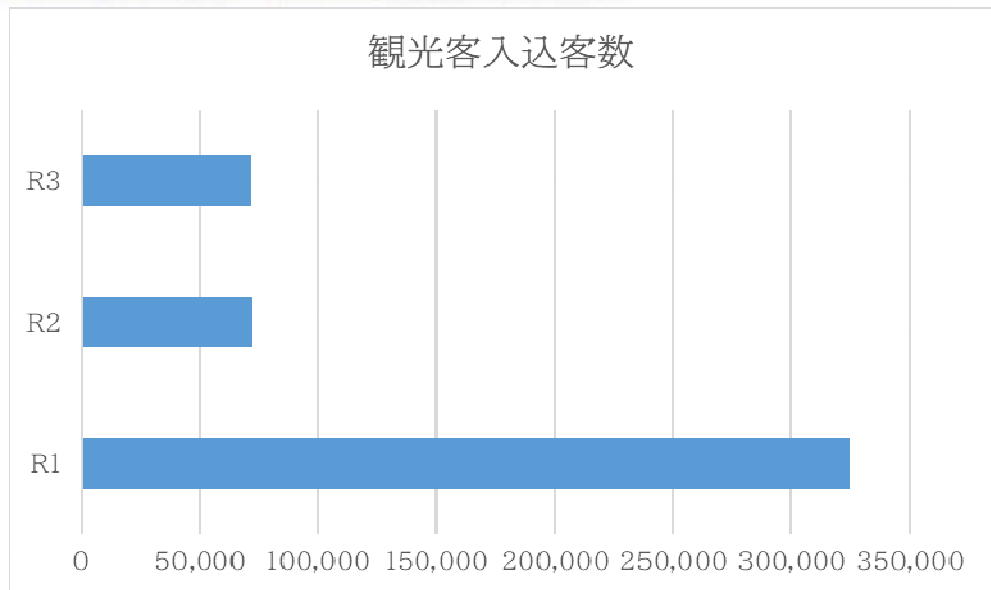
来訪者満足度

— R2年度 — R3年度



事業名	DMOの組織運営強化	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

見える化資料



【数値資料：江差町観光客入込客数】

事業名	「江差を発信する」	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

事業概要

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプランの施策の一つである「江差を発信する」は、

- (1) 観光情報の発信 : 観光ポータルサイトでのリアルタイムな情報の配信
- (2) ワンストップ窓口 : 観光に関する情報や問合せ窓口の構築（体制・機能の構築、旅行会社等との連携強化）、マップシステムの推進
- (3) WEBショップ運営：販売品目の充実、周知の強化を図ることを目的とする。

実績と課題

主な主要事業としては、

(1) 観光情報の発信

①観光ポータルサイト及び英語版ポータルサイトの運用（情報発信）

※英語版観光ポータルサイトは2020年運用開始

(2) ワンストップ窓口

②ツアー受付窓口の構築、クレジット端末の設置、受付手順等の確立、ツアー

申込の開始（クレジット利用実績19件693千円）

③旅行会社等との連携強化として、観光庁補助金活用による奥尻日帰りツアーに係る連携（実施主体：奥尻航路活性化協議会・東武トップツアーズ）

④マップシステム運用は、かもめ島生物マップの作成。江差観光コンベンション協会と連携した夕陽ビューポイントマップの作成。

⑤WEBショップ運営は、奥尻町や乙部町の商品取引を開始して檜山品目の品揃え拡大。

一部送料負担のサービス実施を図りWEB販売

（2020年109件463千円→2021年426件1,986千円）の充実。江差町広報紙や江差観光コンベンション協会フェイスブックと連携して新着入荷商品のPRを行い販売促進を実施。

今後について

新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、旅行を自粛する動きが広まりましたが、観光地域づくりを通して、地域の経済活性化に貢献することなど大きな意義をもって感染症対策に気を配り、コロナ禍での地域住民への理解、マイクロツーリズムを意識するなど、旅行を楽しむだけでなく方法の構築を図ることが重要。

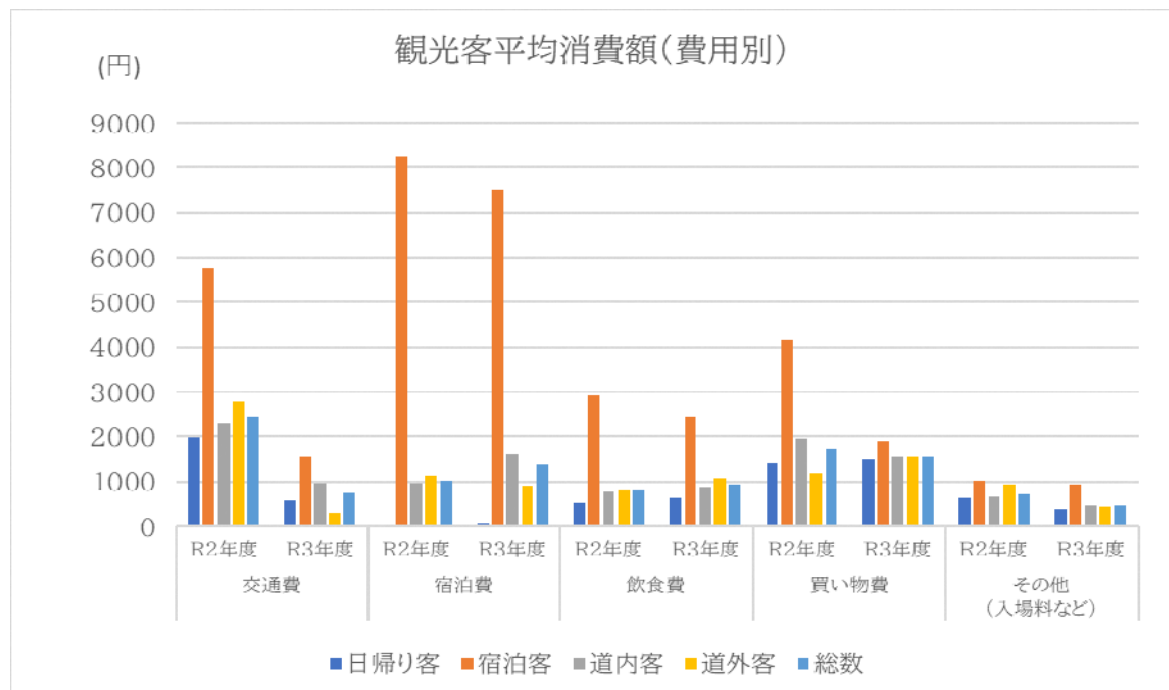
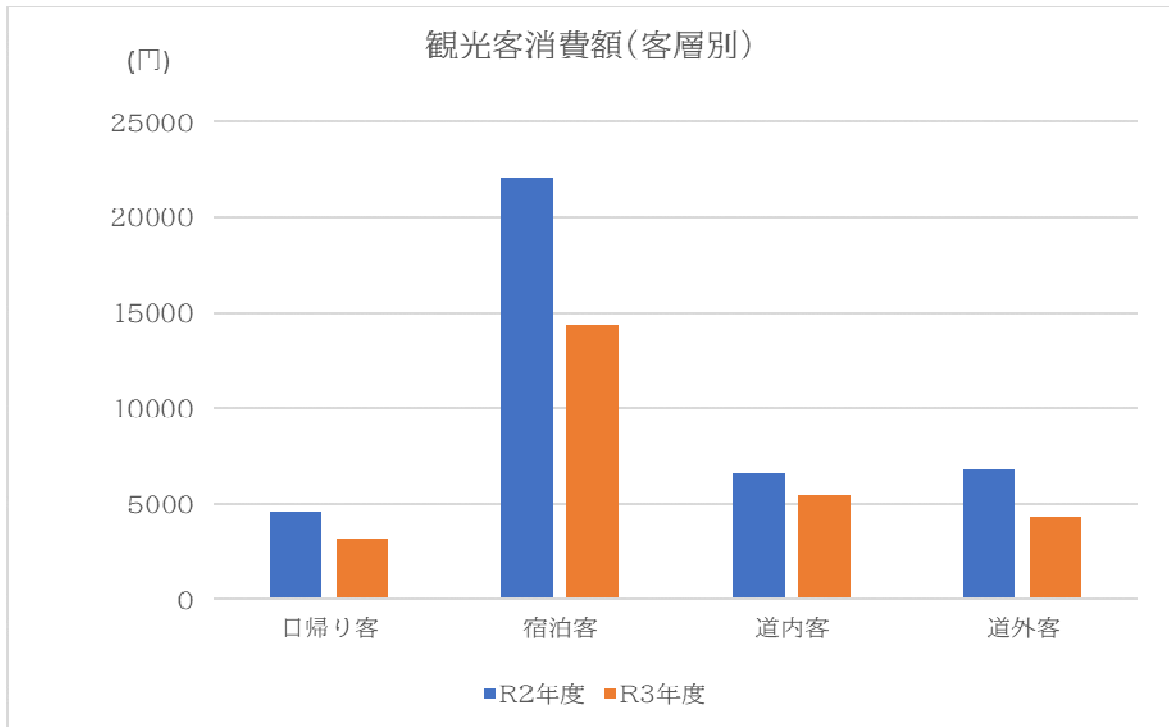
また、観光情報の発信・ワンストップ窓口・アンテナショップぶらっと（WEBショップ）など組織全体の連携を強化し、充実した観光の提供を図る。

事業名	「江差を発信する」	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

見える化資料

■観光客向けアンケート実施概要

- 実施場所：江差町観光情報総合案内所（開陽丸青少年センター）
- 実施方法：案内所に回答用紙を設置し、案内所職員が観光客へ声掛けする他、回答者に五勝手屋ミニ丸11缶羊羹1本を贈呈。（1グループ1本）
- 実施時期：4月～3月末（R2年度は6月1日から開始）
- 回収数：R2年度266件、R3年度198件

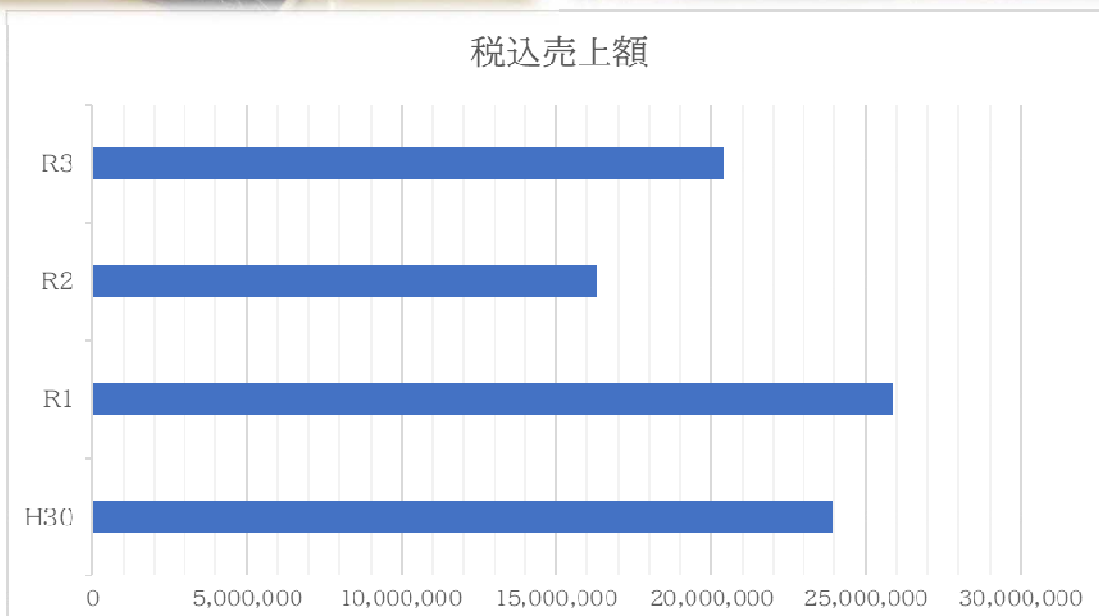


事業名	「江差を発信する」	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

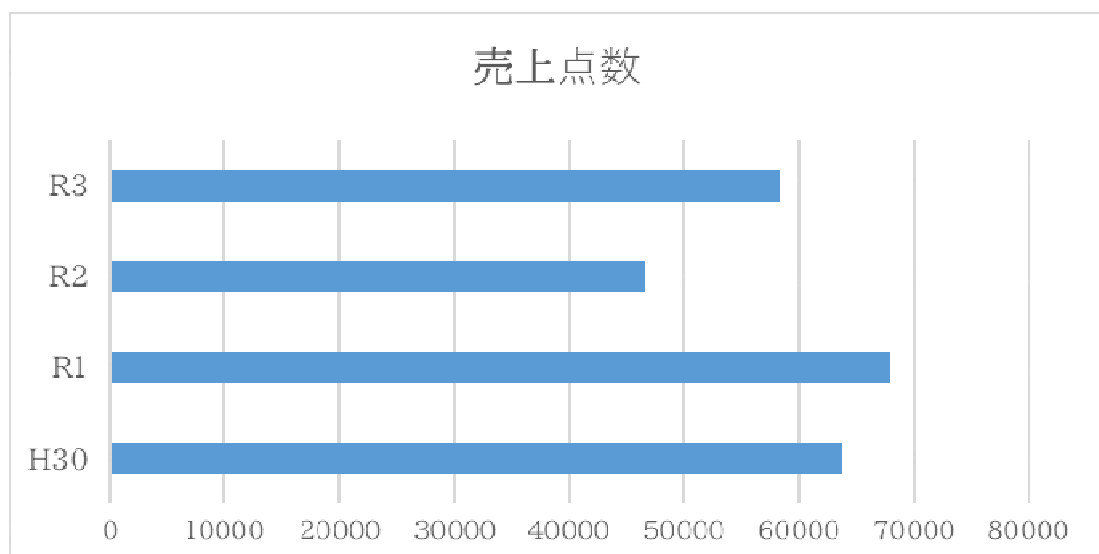
見える化資料



税込売上額



売上点数



【数値資料：「アンテナショップぷらっと江差」売上実績】

事業名	「江差を発信する」	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

見える化資料

■江差町観光情報ポータルサイト年間アクセスページランキング(Top10)

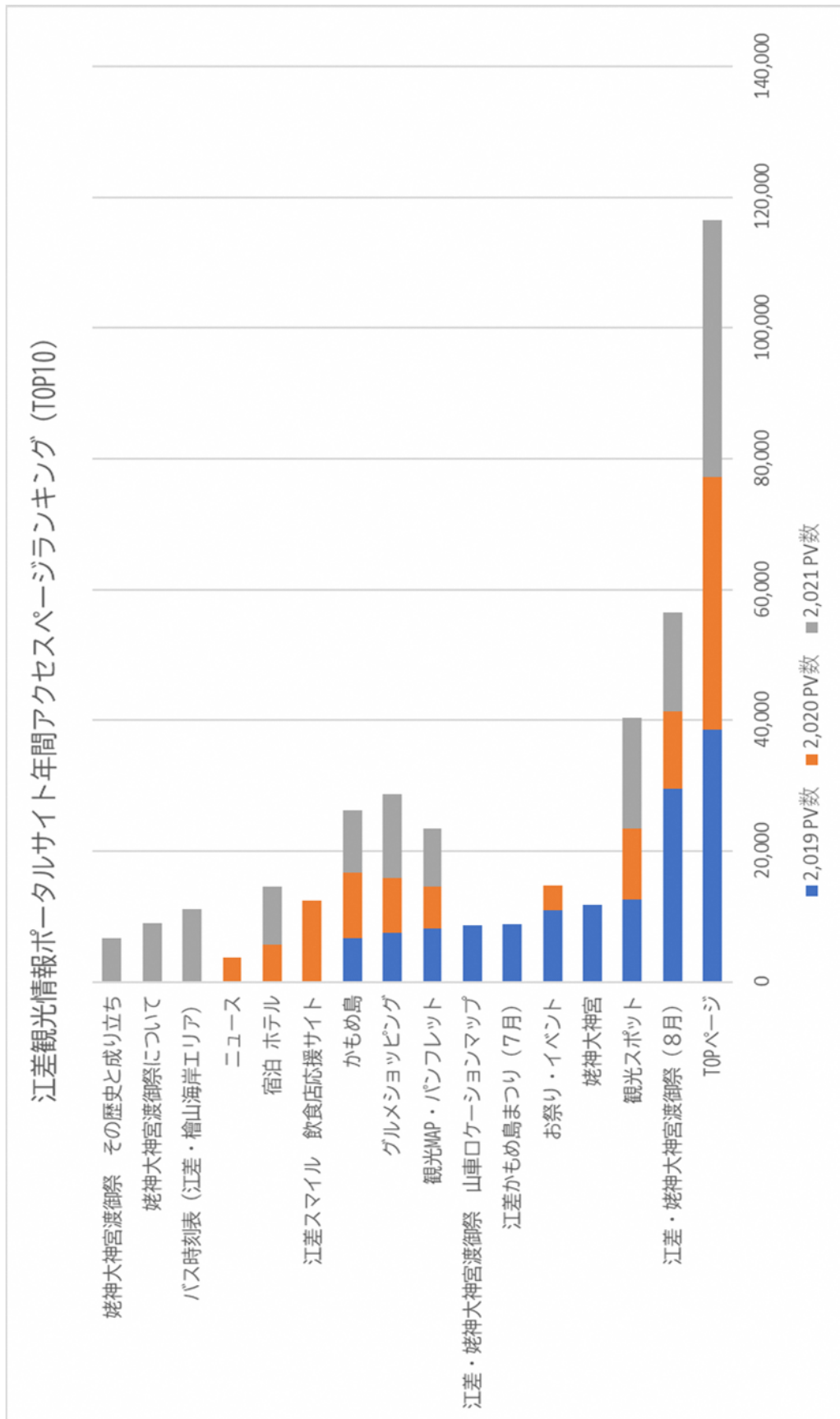
4月～3月合計PV数の上位10ページを抽出

出典: Googleアナリティクス

原位	2019年度			2020年度			2021年度		
	ページ名	PV	ページ名	PV	ページ名	PV	ページ名	PV	
1	TOPページ	38,483	TOPページ	38,642	TOPページ	39,277			
2	江差・姥神大神宮渡御祭(8月)	29,534	江差スマイル 飲食店応援サイト	12,353	観光スポット	16,878			
3	観光スポット	12,657	江差・姥神大神宮渡御祭(8月)	11,871	江差・姥神大神宮渡御祭(8月)	15,121			
4	姥神大神宮	11,794	観光スポット	10,766	グルメショッピング	12,862			
5	お祭り・イベント	10,873	かもめ島	9,986	バス時刻表(江差・檜山海岸エリア)	11,096			
6	江差かもめ島まつり(7月)	8,794	グルメショッピング	8,337	かもめ島	9,608			
7	江差・姥神大神宮渡御祭 山車ロケーションマップ	8,703	観光MAP・パンフレット	6,327	観光MAP・パンフレット	8,938			
8	観光MAP・パンフレット	8,191	宿泊 ホテル	5,752	姥神大神宮渡御祭について	8,913			
9	グルメショッピング	7,561	お祭り・イベント	3,769	宿泊 ホテル	8,760			
10	かもめ島	6,651	ニュース	3,725	姥神大神宮渡御祭 その歴史と成り立ち	6,743			
集計		143,241		111,528		138,196			
Top10占有率		45.2%		37.4%		35.7%			

事業名	「江差を発信する」	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

見える化資料



事業名	「江差を発信する」	指標名	観光入込客数
		担当課	追分観光課

見える化資料

日本遺産のまち
北海道江差町の観光情報ポータルサイト

LANGUAGE

観光・イベント 暮らし・生活情報 観光MAP・パンフレット アクセス お祭り情報

江差、いい町。
good day
good town
ESASHI TOWN

もっと見る

観光・イベント

観光スポット
TOURIST ATTRACTIONS

体験観光
EXPERIENCE

グルメショッピング
GOURMET SHOPPING

宿泊ホテル
HOTEL

お祭りイベント
EVENT

事業名	「江差を磨く」	指標名	来訪者満足度
		担当課	追分観光課

事業概要

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプランの施策の一つである「江差を磨く」は、

- (1) コンテンツ開発：体験コンテンツの開発、既存コンテンツの見直し
- (2) 体制整備：プレーヤーと連携可能な体系整備

町内散策やガイドを中心に定期的な持続可能な体験メニューの新規開発、検証、モニターツアーの実施、予算検討を実施する。（既存コンテンツとセット商品化）

実績と課題

主な主要事業としては、

- (1) コンテンツ開発
 - ①体験のマリンピングセット化を行い、新しい体験の開発と既存体験メニューのブラッシュアップを図り、「江差マリンピング」とのセットメニュー化を図った。
 - ②物販をベースとした観光体験の検討及び開発を行い、『おうちソクたび』（コンテンツ開発）を実施。「漁村のお宿ごはん旅気分」をテーマに商品販売（詰合せセット）を実施。他にも、YouTube配信（7月30日）による地元製品の食べ方の紹介、江差観光名所の紹介を配信。
 - ③他事業者が実施しているメニューなど集客を増やすための検討を行い、体験メニュー普及支援（コンテンツの見直し）を実施。「はんこづくり」をメニューとして取り入れ、洞爺湖中学校宿泊研修受入指導、蔦屋書店日本遺産イベントでの体験会提供などを実施した。また、着物で散策体験を、北海道歴史倶楽部インバウンド事業へ組み入れ普及支援を実施。
 - ④体制整備のため、真狩村キャンプ運営視察、奥尻町グランピング施設視察を行い、江差マリンピング運営開始に向けた研修会を実施。

今後について

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプランに基づき、江差マリンピングとの連携をとり、相乗効果が図られるように「コンテンツ開発」を通して、様々な体験プログラムを各種イベントへ組み入れ運営し、セットメニューの検討や課題整理を行った。

また、持続可能な体験プログラムの構築と運営方法などの体制整備についても、今後においてスムーズに運営できるようモニターツアーの実施を通して検証作業を実施。

事業名	「江差を磨く」	指標名	来訪者満足度
		担当課	追分観光課

見える化資料

受入団体：洞爺湖中学校宿泊研修
 受入内容：はんこづくり
 受入会場：対鳴館



函館蔦屋書店日本遺産PRイベント
 (令和3年11月22～23日)
 ○江差マリニピング紹介
 ○シーグラス体験
 ○はんこづくり体験



事業名	「江差を磨く」	指標名	来訪者満足度
		担当課	追分観光課

事業概要

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプランの施策の一つである「江差を憩う」は、

- (1) イベント民泊の運営
- (2) かもめ島を核とした観光開発（マリumping等）
- (3) リノベーション開発の検討

を行い、地域の観光づくりを図ることとする。

実績と課題

主な主要事業としては、

(1) イベント民泊の運営

※江差追分全国大会時の民泊場所の確保策として実施しているイベント民泊ですが、コロナ禍により全国大会が中止となったため、イベント民泊についても未実施となりました。

(2) かもめ島を核とした観光開発（マリumping等）

①海洋体験の基本メニュー確立→マリumping

- ・ 1日1組限定（利用定員4名）『江差マリumping』としてグランピングテント泊と海洋体験と食事をセットメニュー化。また、食事の選択制導入（弁当BOXまたはBBQセット）。
- ・ 1日5組まで対応可（1組利用定員4名）『手ぶらでキャンプ』としてキャンプテントと海洋体験、食事をセットメニュー化。
- ・ 日帰り体験メニューの構築を行い、『アドベンチャーウォーク（ガイド付きかもめ島散策）』『カニ釣り』『磯釣り』『マリunkait』のメニュー化。

※利用実績（プレオープンを除く8月21日～10月24日で実施）

- ・ 江差マリumping、手ぶらでキャンプ 25組69名
- ・ 海洋体験メニュー 253名

②運営体制の構築を図り専従職員1名の配置、運営マニュアル等の作成。食事提供などについて町内事業者と連携を図り実施。

③マリumpingプレオープン（7月22日、お披露目と体験会実施）、町民無料体験4回実施

④マリumping情報発信メディア露出全39回（テレビ4回、ラジオ2回、新聞紙面10回、WEB新聞13回、雑誌8回、他2回）

(3) リノベーション開発の検討

⑤宿泊可能な環境の整備

- ・ 収納倉庫整備（木造26.5㎡）、トイレ一部改修（男女入口に開き戸）、上水道改修（シンク2台、蛇口4口）、階段改修（階段中央部に幅60cmのスロープ設置）

今後について

江差町観光まちづくり総合戦略アクションプラン初年度として、新たな江差町の魅力につながる「江差マリumping」の開発・運用など新しいスタートをした。引き続き、体験コンテンツを磨き上げと旅行商品の販売増加、運営体制や機能強化をする必要があります。

事業名	「江差を磨く」	指標名	来訪者満足度
		担当課	追分観光課

見える化資料

令和3年8月21日オープン 1日1組限定「マリニングテント」



1日5組限定「手ぶらでキャンプ」

「アドベンチャーウォーク」
(ガイド付きかもめ島散策)



「日帰り体験メニュー」 (磯釣り・カニ釣り)



事業名	「江差を磨く」	指標名	来訪者満足度
		担当課	追分観光課

見える化資料

○トイレ部改修
 (男女入口に開き戸設置)
 令和3年5月14日整備



○上水道改修
 (シンク2台・蛇口4口)
 令和3年8月20日整備



○収納倉庫整備 (木造26.5㎡)
 令和3年9月20日整備



○階段改修
 (中央部に幅60cmのスロープ設置)
 令和3年12月15日整備

事業名	2次医療圏の地域医療体制構築 の検討	指標名	医師研究資金貸与件数
		担当課	健康推進課

事業概要

(1) 2次医療圏の地域医療体制構築の検討のため、2次医療圏構成町・北海道及び関係機関と協議。令和2年3月「南檜山圏域の医療を確保するための行動方針」を策定、行動方針を推進するために令和2年度に「地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワーク」を設立、参加法人として協議に参加。医療機能分担及び業務連携の仕組みづくりについて検討。

(2) 道立病院医師研究資金貸与の実施

(3) 2次医療圏構成町長による札幌医科大学への要望行動の実施

実績と課題

(1) 「地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワーク」において、

- ①参加法人基礎調査実施
- ②道立病院の医療機器の共同利用
- ③医大実習生の地域体験研修の受入
- ④参加法人医師による医療連携部会の開催した。

(2) 医師研究資金貸与数は令和3年度は常勤医全員が1年間継続して勤務することになり常勤医数と貸付数が同じになった。北海道医師数は増加しているが、南檜山医師数は平成30年度以降25人を維持している。

(3) 札幌医科大学への要望行動はコロナ禍のため中止した。

今後について

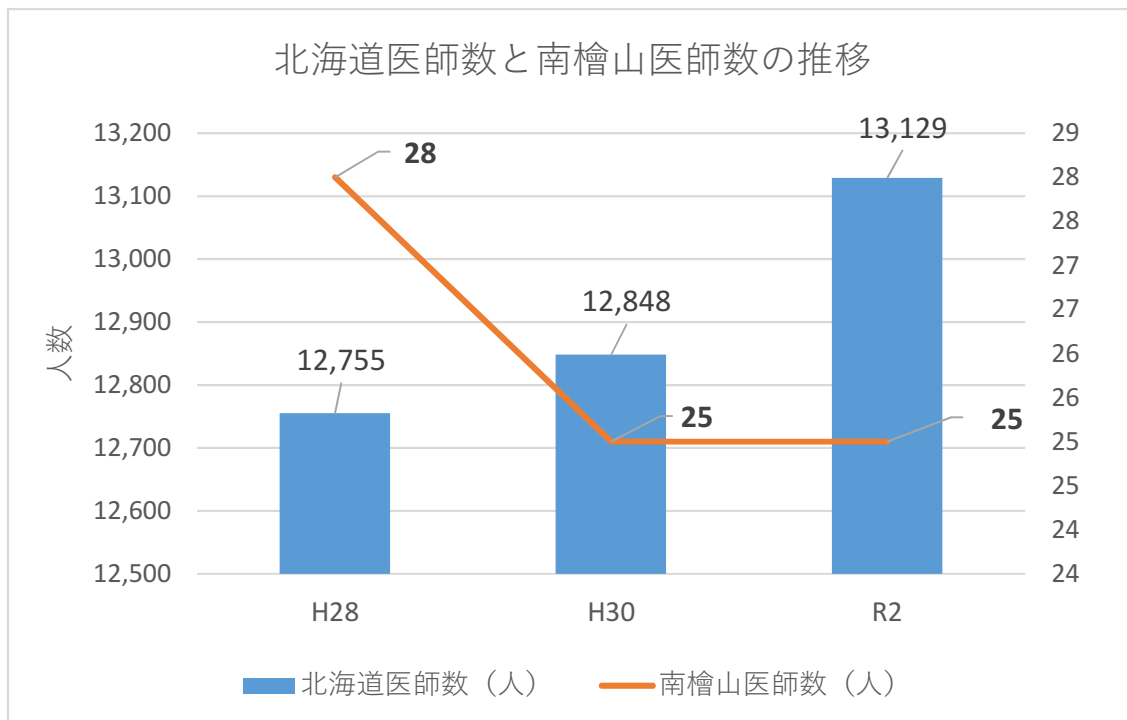
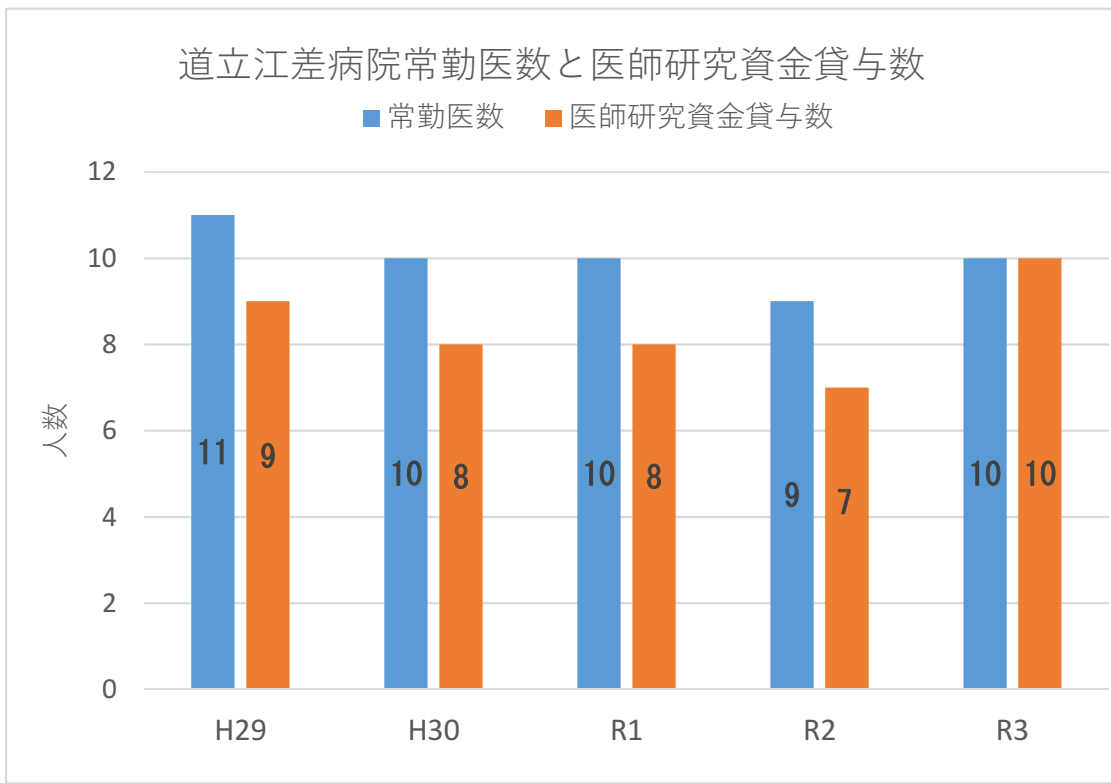
(1) 「地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワーク」において、圏域内の医療機能分担及び業務連携の仕組みづくりについて検討を継続。

(2) 道立病院医師研究資金貸与事業の継続

(3) 南檜山5町で実施していた札幌医科大学要望行動は「地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワーク」事業に位置付け。要望行動の在り方は、医師確保対策の一つとしてネットワークの中で議論する。

事業名	2次医療圏の地域医療体制構築 の検討	指標名	医師研究資金貸与件数
		担当課	健康推進課

見える化資料



事業名	継続可能な地域医療体制の確立	指標名	医師研究資金貸与件数
		担当課	健康推進課

事業概要

継続可能な地域医療体制の確立のため、救急医療・搬送体制の整備、休日医療体制の維持・継続、医療機関連携の維持・継続のため、下記の事業を実施。

- (1) 道南ドクターヘリ負担金
- (2) 脳疾患救急搬送特別補助事業
- (3) 檜山医師会へ休日及び夜間当番医事業委託
- (4) 民間医療機関への地域医療連携システム運営補助事業

実績と課題

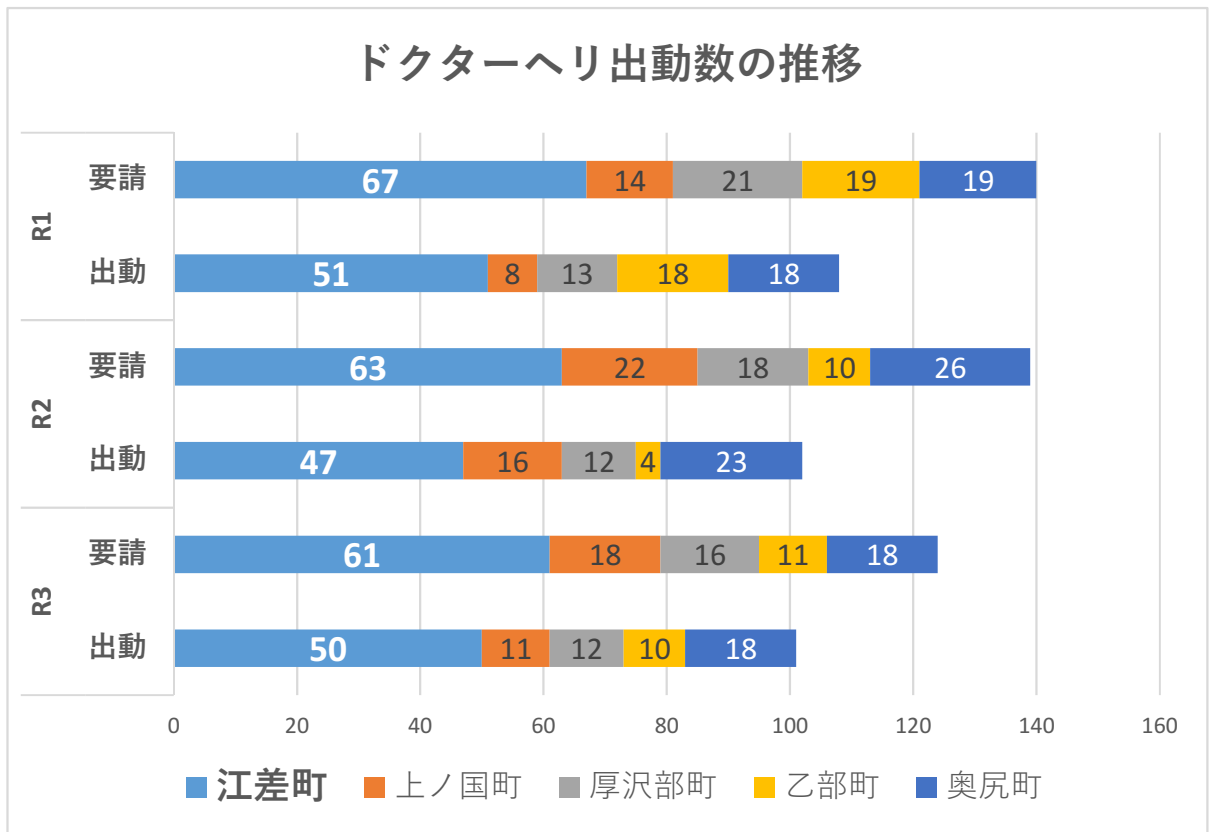
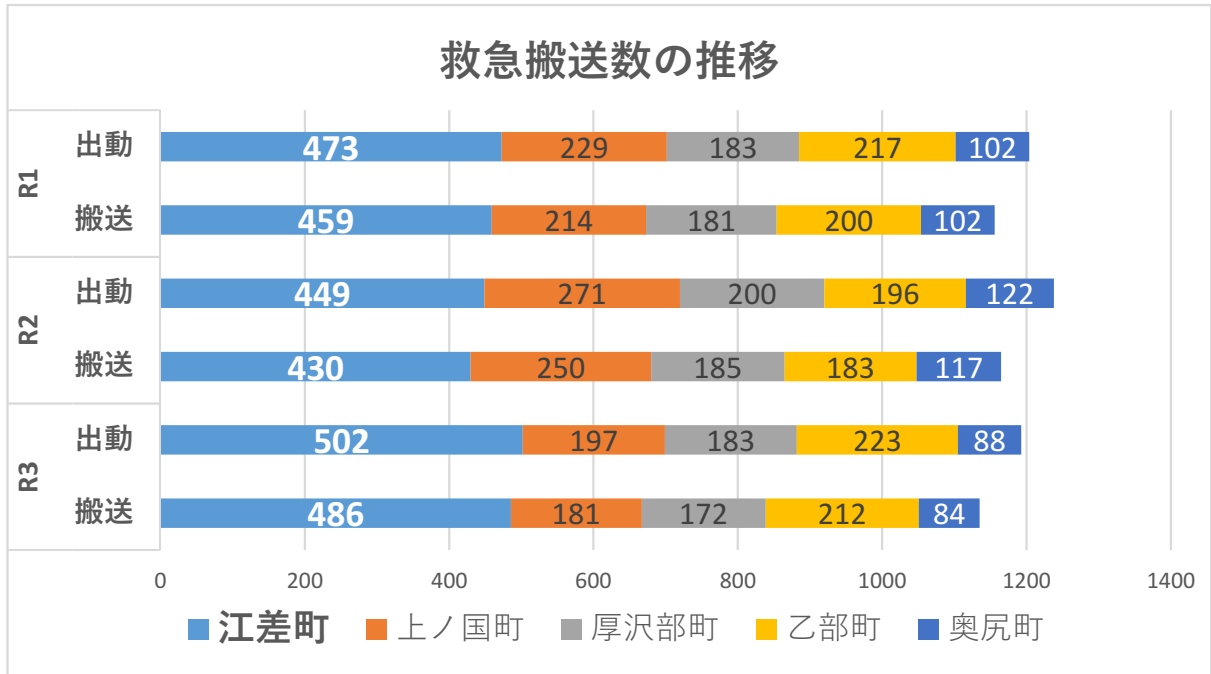
- (1) 道南ドクターヘリは平成27年2月から運航開始。年間約50件前後の出動。時間帯や天候不良により活用が左右される。
- (2) 江差脳神経外科の救急患者受入数は令和3年度で72件、そのうち江差町分は22件。例年同様、搬送件数の約3割が江差町分。
- (3) 休日医療利用 令和3年度 427件。夜間医療利用 令和3年度 202件。
- (4) 町内3民間医療機関に運営補助実施

今後について

「地域医療連携推進法人南檜山メディカルネットワーク」の診療連携部会（参加法人の医療機関医師及び事務長で構成）で休日夜間医療体制の見直しについて意見交換され、人的資源に限りある中でどのような体制が出来るのか議論を進めていくことになっています。

事業名	継続可能な地域医療体制の確立	指標名	医師研究資金貸与件数
		担当課	健康推進課

見える化資料



事業名	販売戦略の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
		担当課	産業振興課

事業概要

販売戦略の推進を目的に下記施策を実施

①船上活締め、神経締め

サクラマスの船上活締め、神経締めを実施することにより、付加価値向上対策を実施。

②江差産ニシン活用促進対策事業

活用事業者の固定化のため、商品開発への活用を周知。

③アワビ養殖漁業モデル推進事業

養殖事業を実施し、ふるさと納税返礼品としての出荷を基本とし、市場に左右されない販売体制の構築のため試験的に取り組む。

実績と課題

①船上活締め、神経締め

サクラマスの船上活締め、神経締めを実施。付加価値向上の上、ふるさと納税返礼品として出品。

②江差産ニシン活用促進対策事業

商品開発への活用を周知を行ったことにより、活用件数の変化はないが、使用数量は増加。ニシン製品の商品開発として「ひとくちニシン」を製作し、ふるさと納税返礼品にも出品。その他、本事業により、「ニシンそば」「ニシン甘露煮」に活用され、ふるさと納税返礼品にも出品。

③アワビ養殖漁業モデル推進事業

実施したことにより、ふるさと納税返礼品メニューの増加。

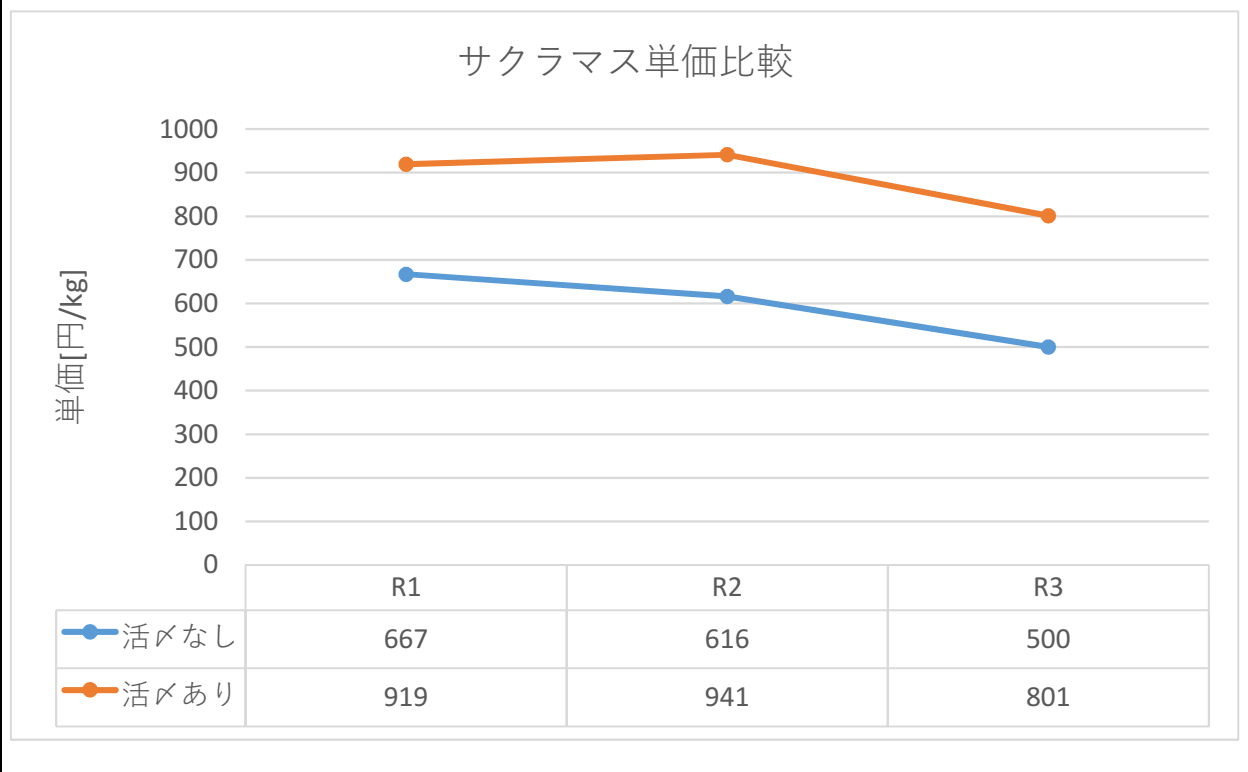
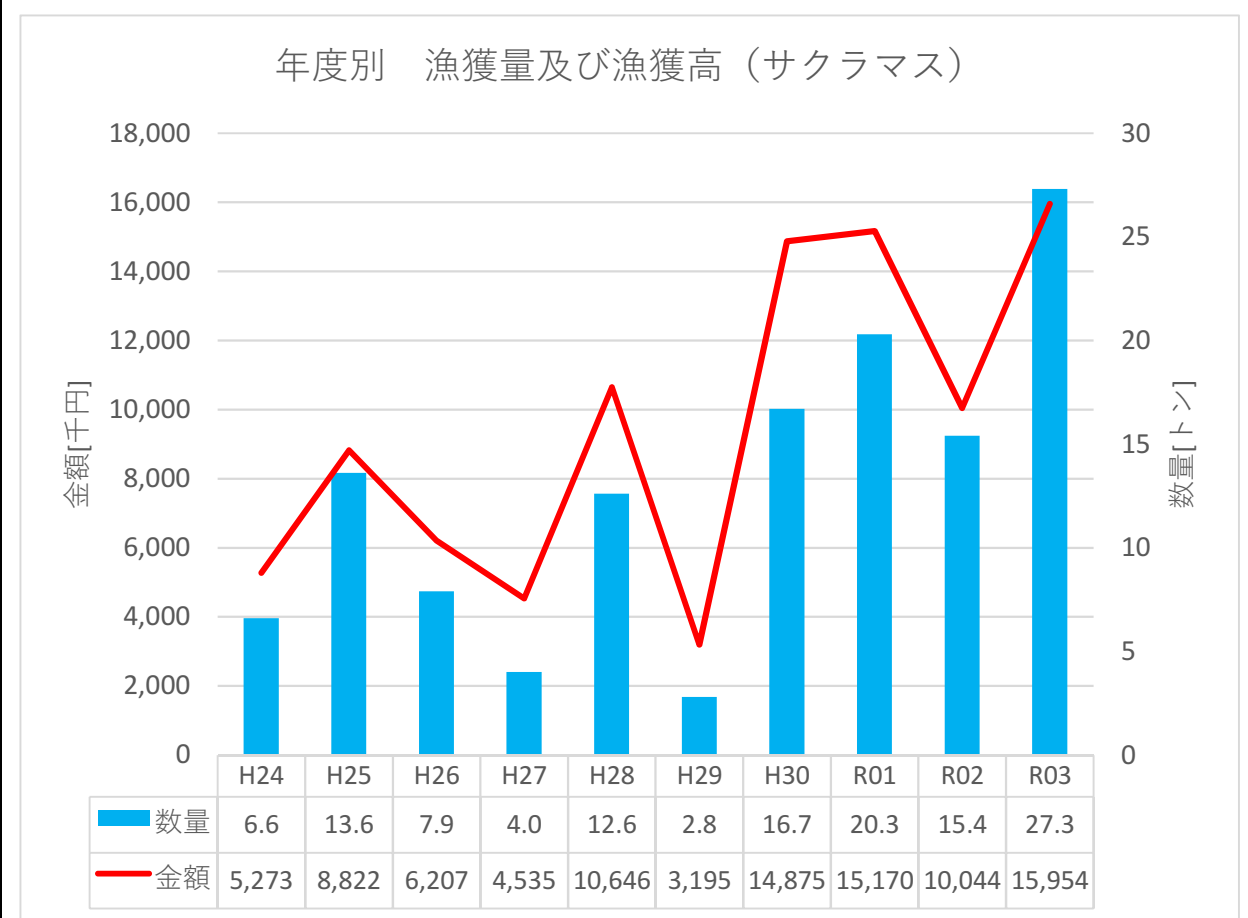
- ・活アワビ（60mm程度、8個入）
- ・活アワビ（60mm程度、12個入）
- ・煮アワビ、蒸アワビセット（10袋入）
- ・煮アワビ、蒸アワビセット（6袋入）

今後について

上記のとおり、令和3年度に開発された新商品はニシン3品、アワビ4品あり、引き続き販売戦略の推進や商品開発に繋がるよう支援を実施していく。

事業名	販売戦略の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
		担当課	産業振興課

見える化資料



事業名	担い手の育成	指標名	新規漁業就業者
		担当課	産業振興課

事業概要

新規漁業就業者の増加を目的に下記施策を実施

①新規漁業者への財政支援の検討

新規漁業者への財政支援の検討を行うことで、新規漁業者が就業しやすい環境づくりを目的として検討。

②おためし漁業体験事業の実施

担い手確保対策の一つとして、三大都市圏等在住者を対象とした地域おこし協力隊制度の「おためし地域協力隊」による地域での水産業従事希望者を募集する。この取り組みを実施するにあたっては、地域での受け入れ環境・意識の構築は不可欠であり、短期間の「おためし地域協力隊」を行うことで、担い手を受け入れるための課題を確認する。

実績と課題

①新規漁業者への財政支援の検討

国や道の支援事業、他町の支援事業等の情報収集、漁業者との意見交換を実施。おためし漁業体験事業の応募がなかったため、担い手候補者との意見交換は出来なかった。

②おためし漁業体験事業の実施

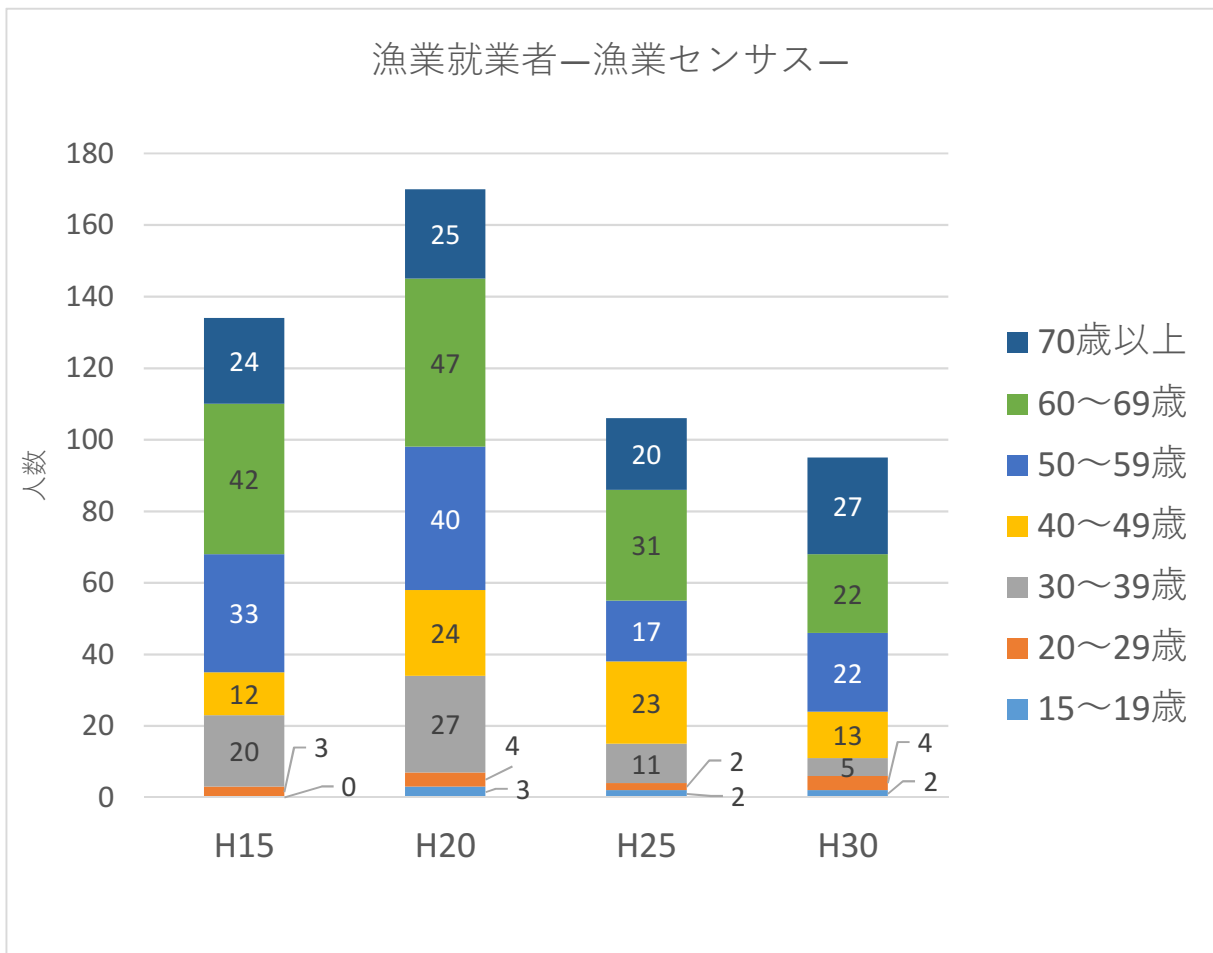
町ホームページにより募集したが、応募者なし。今後はフェアに参加する体制を整えるなど、PRすることが重要と感じた。

今後について

新規漁業就業者対策は継続するものの、まずは漁業の魅力発信や漁業者の受け入れ体制・意識、PR等を重点に検討したい。

事業名	担い手の育成	指標名	新規漁業就業者
		担当課	産業振興課

見える化資料



事業名	担い手の育成、確保	指標名	新規就農者・法人数
		担当課	産業振興課

事業概要

(指標名：新規就農・法人参入の推進)

- ・新規就農者対策、法人参入の支援
- ・農地所有適格法人などの設立、育成
- ・集落営農組織の確立、推進

実績と課題

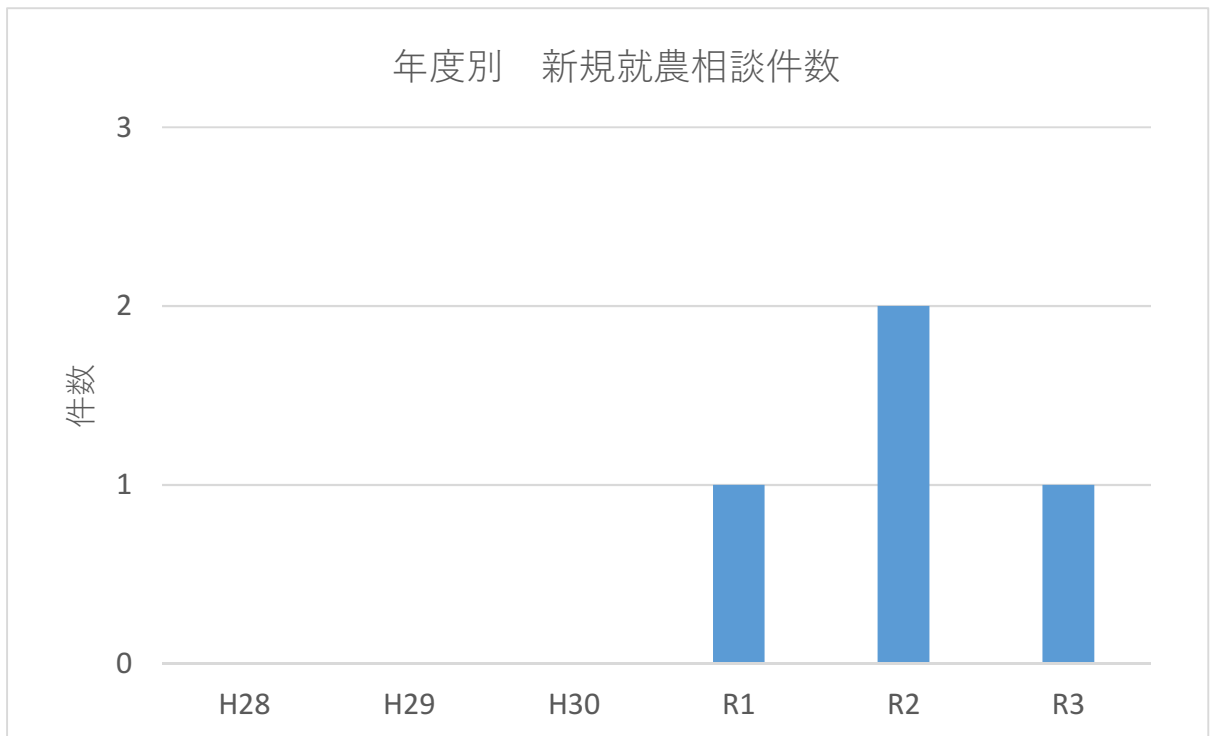
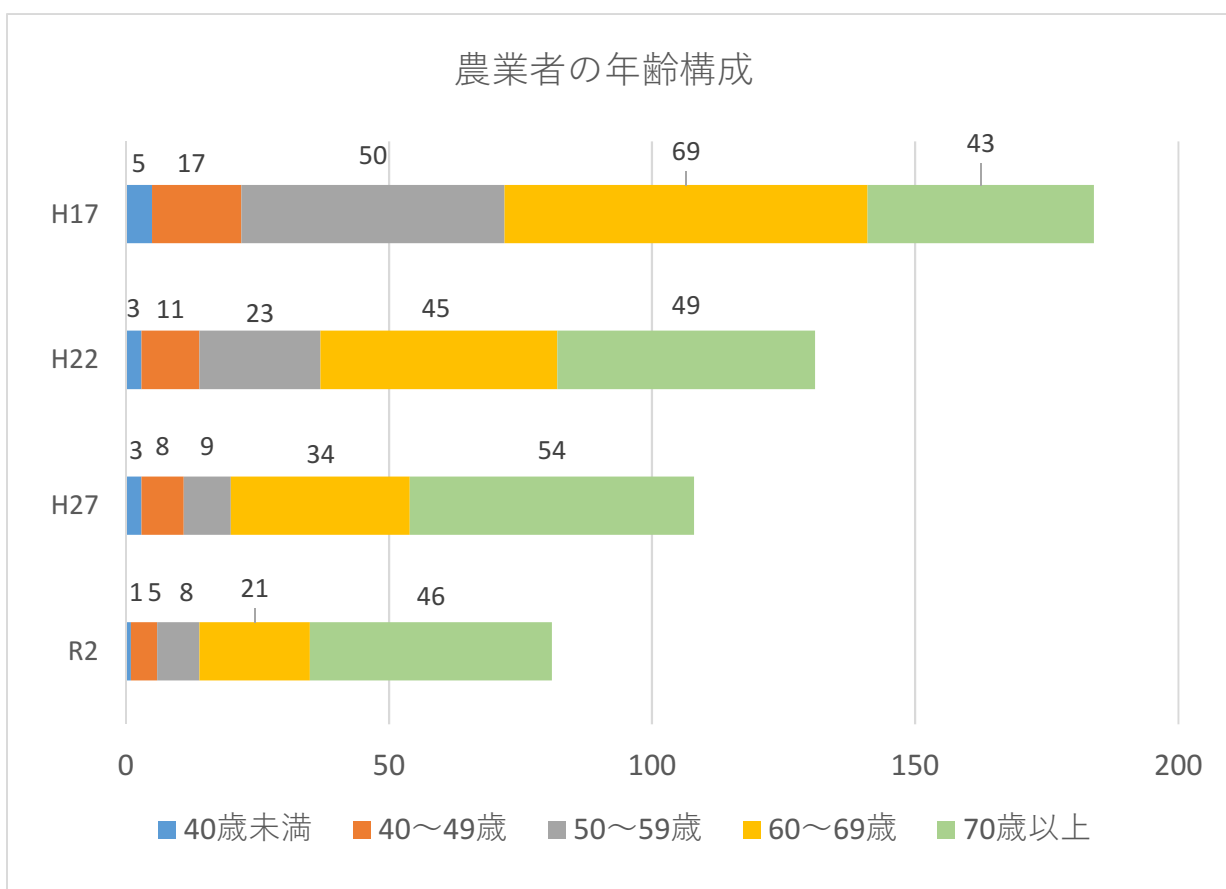
- ・ H17には184人いた農業者が15年後のR2では81人と半数以下となっており、うち60歳未満は35人となっている。
- ・ R2年度に認定した認定新規就農者が営農開始
- ・ 新規就農相談は1件あったものの、就農には結びつかなかった。
- ・ おためし農業体験事業を予算化し町HPで募集したが、希望者がいなかったことから、事業の周知方法について検討が必要。

今後について

- ・ 既に認定新規就農者の発展的なサポート体制の構築。
- ・ 町内の農業者へ今後の営農意向を確認するとともに新たな担い手の必要性の議論を行い、担い手対策の認識を共有する。

事業名	担い手の育成、確保	指標名	新規就農者・法人数
		担当課	産業振興課

見える化資料



事業名	栽培漁業定着推進（資源づくり）	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

事業概要

栽培漁業定着推進（資源づくり）として、下記魚種を実施

- 1 ヒラメ：北海道栽培漁業振興公社の基金運用益において、日本海側で需要のあるヒラメを生産し、放流を行っているもの。檜山管内は檜山北部・南部と隔年で実施している。R3年度江差町へ7万尾の放流予定。
- 2 ニシン：ニシンの回帰する時期、場所の環境、産卵量などの実態を解明し、今後の放流事業や藻場の保護・造成事業などを具体的に展開する資料とし、ニシン資源の復興を図り、放流したニシンの追跡調査を行うことにより、ひやま地域の水産振興が図られることを目的に檜山管内水産振興対策協議会に対し各町で支援。
- 3 サケ：さけ増殖事業で対応が難しいと想定される一次飼育さけ稚魚の河川降下期・沿岸滞留期における減耗を減らし、回帰率向上を図るべく降海期のさけ稚魚を直接海中生簀で二次飼育し放流するための経費を支援。
- 4 ナマコ：①漁業者でできる簡易人工採苗及び育成施設での飼育。稚ナマコ採苗・種苗育成に関する経費に対し支援。
②平成27年度に檜山管内の生産額がトップになり、これからの漁業所得の増大に期待が寄せられ、種苗育成の強化を図ることを目的に、檜山管内水産振興対策協議会に対して各町で支援。
- 5 ウニ：江差磯廻り団体が実施するウニ種苗購入費に対して支援。
- 6 アワビ：種苗2万粒の購入及び養殖に関する管理費の支援。

実績と課題

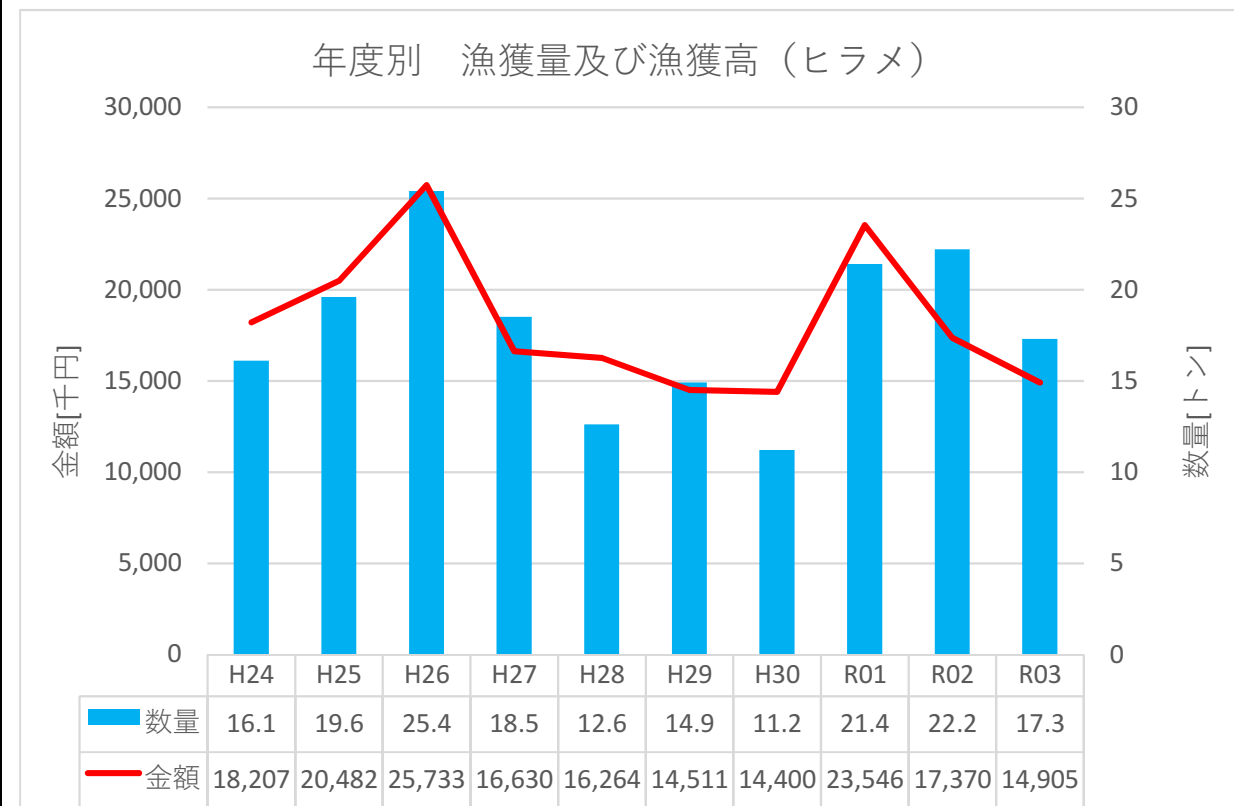
- 1 ヒラメ：江差海域へ7万尾放流を実施。
- 2 ニシン：①江差海域へ16万6千尾放流。
②放流したニシンには標識を付けているため、成魚となり獲れたニシンの追跡調査として、耳石調査を実施したが、放流魚はみつからなかった。
- 3 サケ：200万尾の二次飼育（海中中間育成）を実施。
- 4 ナマコ：①14,122万粒を採卵し、1,125万粒を育成施設により飼育。余剰卵は江差海域へ放流。
②管内広域事業として、16万6千7百粒を放流（10mm以上）。
- 5 ウニ：江差海域へエゾバフンウニ種苗20万粒を放流。
- 6 アワビ：アワビ製品4品の商品開発。市場に左右されにくい販売体制の構築が図られた。

今後について

上記のとおり、令和3年度に実施した魚種は6種あり、引き続き支援を実施していく。

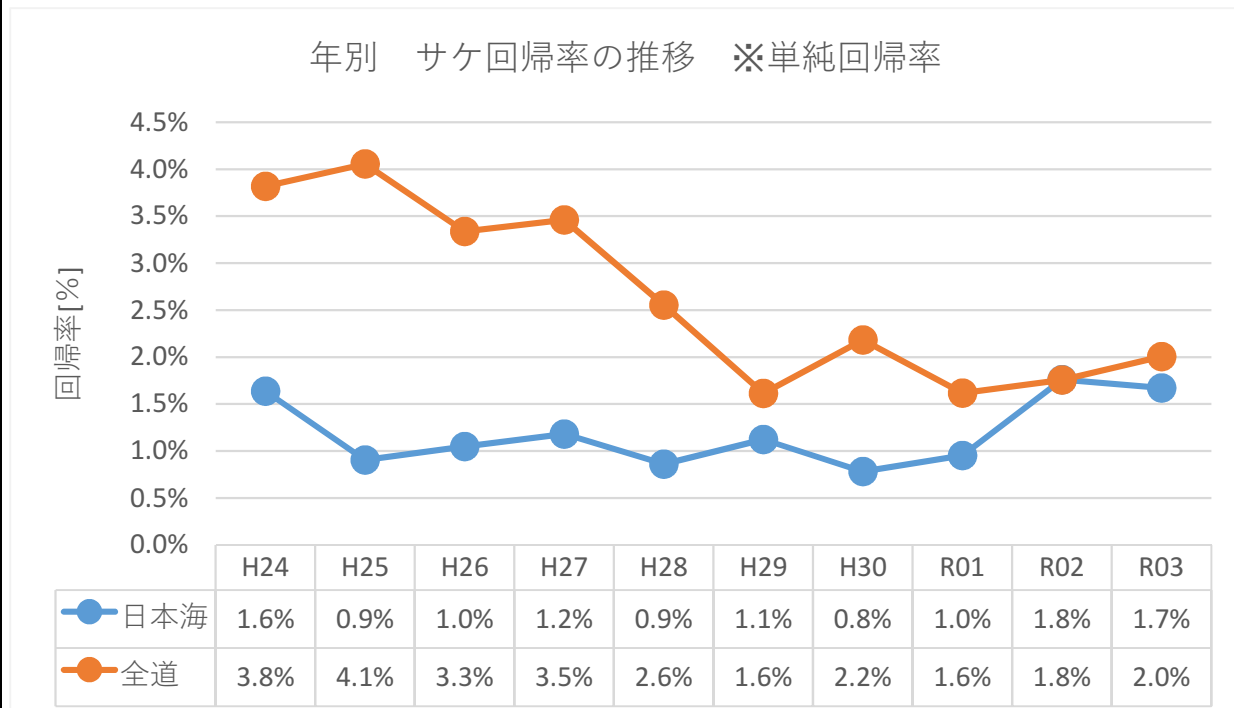
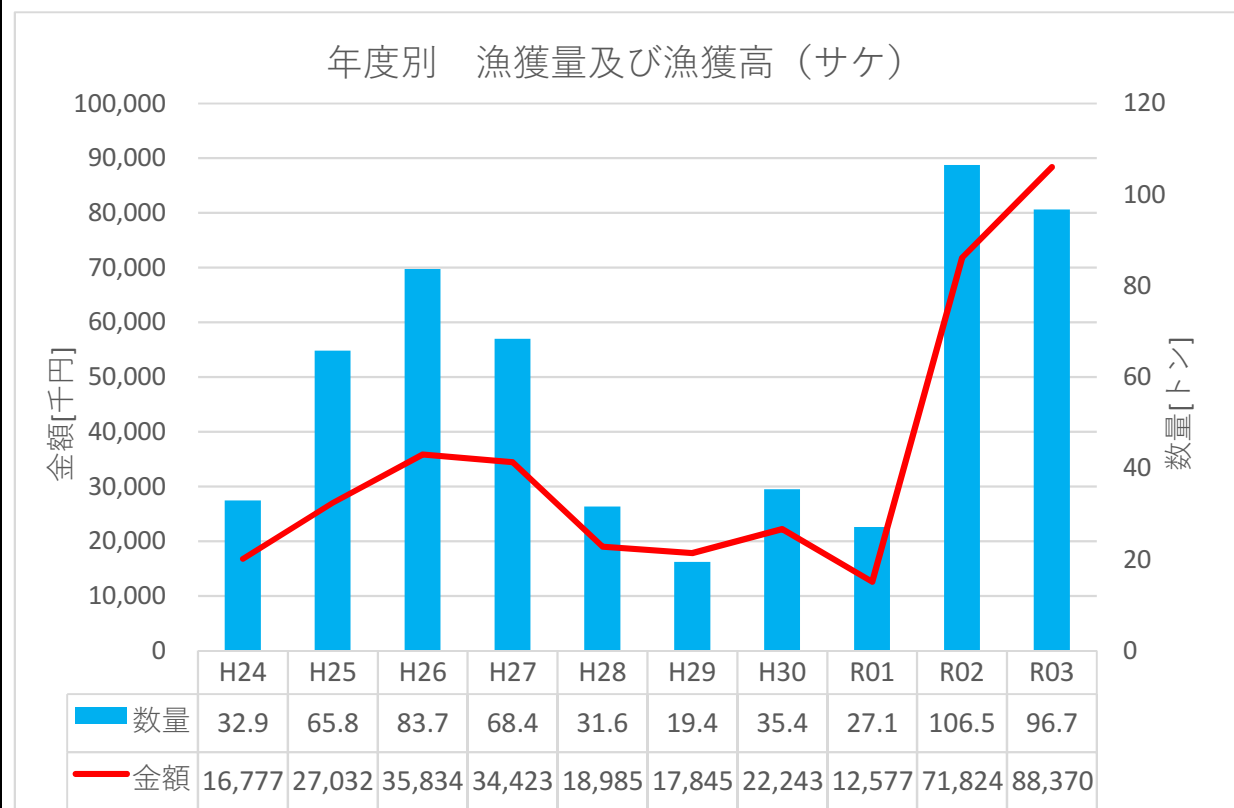
事業名	栽培漁業定着推進（資源づくり）	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

見える化資料



事業名	栽培漁業定着推進（資源づくり）	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

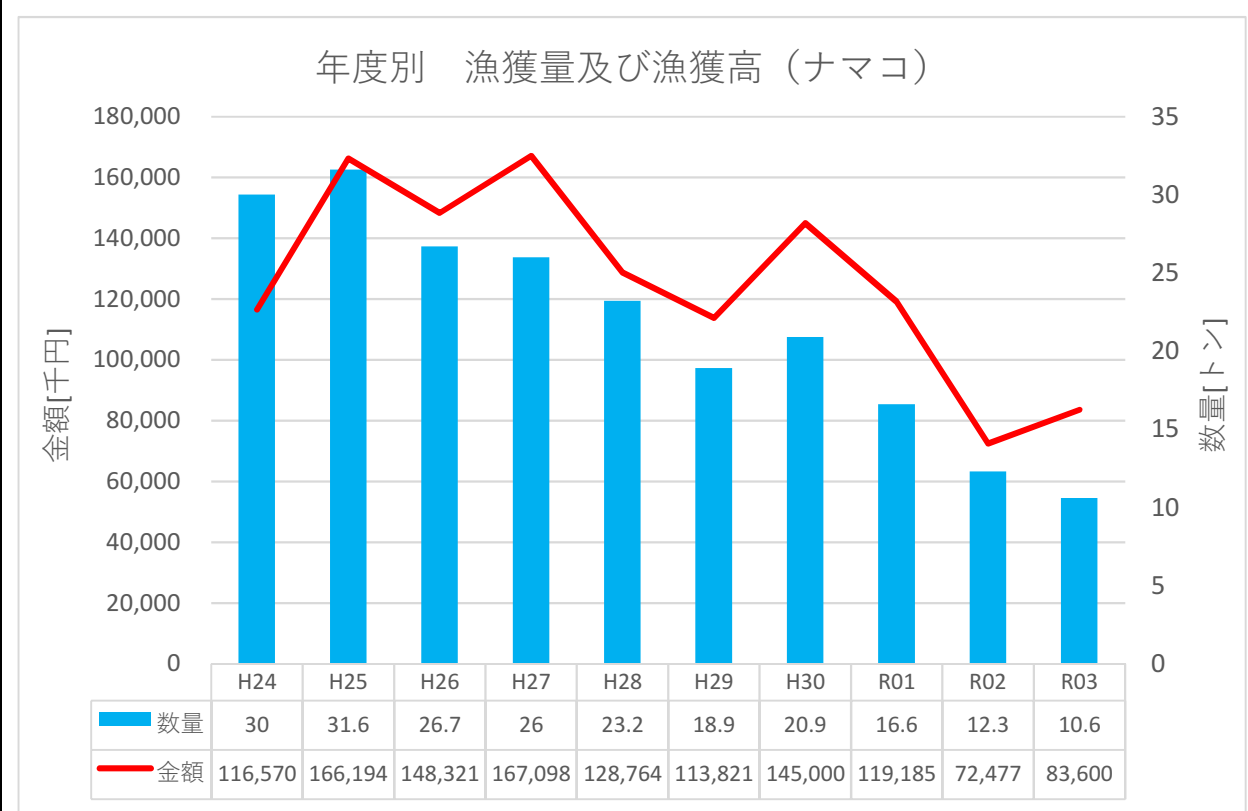
見える化資料



※単純回帰率は、サケが4年魚で最も多く回帰することから、簡易的に4年前の年級の放流数に対する来遊数の割合を示したものの。

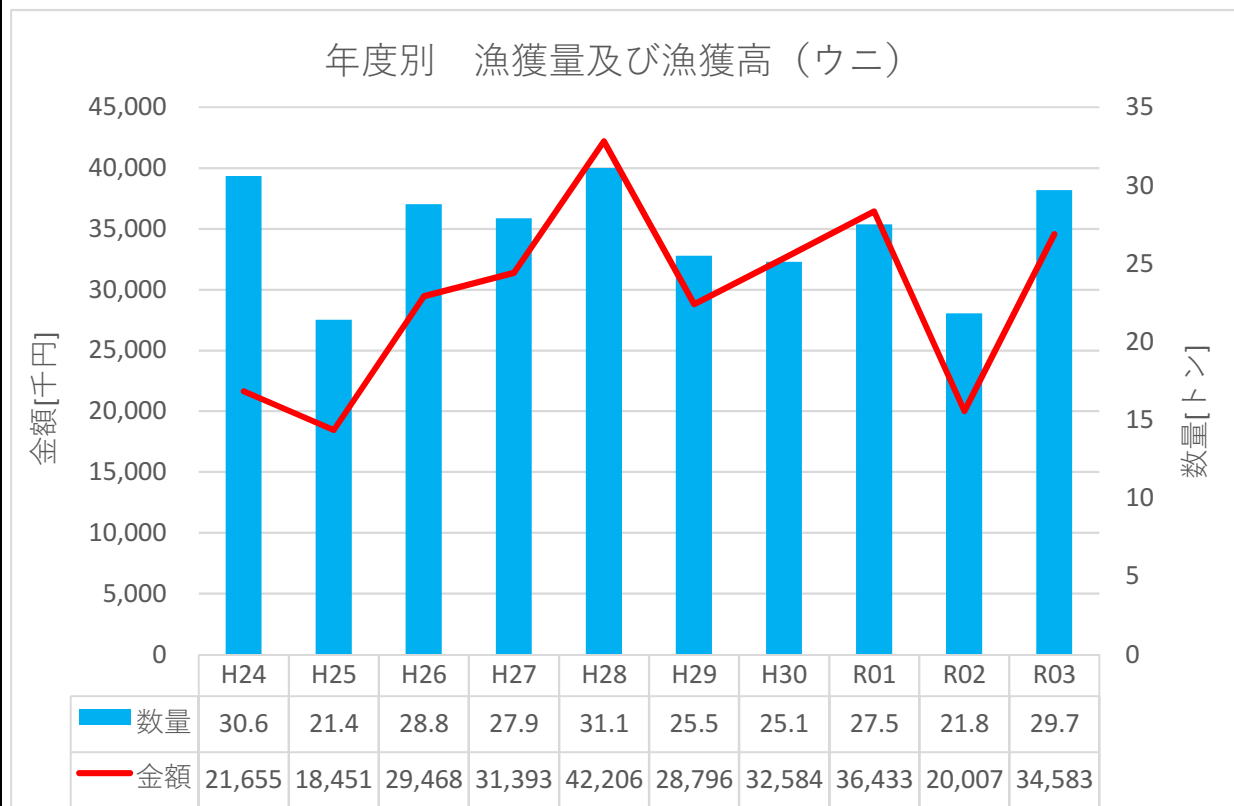
事業名	栽培漁業定着推進（資源づくり）	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

見える化資料



事業名	栽培漁業定着推進（資源づくり）	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

見える化資料



事業名	広域的漁業生産基盤の確立	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

事業概要

広域的漁業生産基盤の確立を目的に、目的に下記施策を実施

1. ニシン稚魚の檜山管内100万尾放流の継続

檜山地域に来遊する親ニシンにより採卵を実施し、生産された稚魚100万尾を檜山全域へ放流するため、檜山管内水産振興対策協議会に対し各町で支援。

2. サケ海中飼育用種苗生産への支援

ひやま漁業協同組合乙部さけ・ます飼育センターにて、低密度飼育による健苗性を高めるために実施する運営費に対して支援。

実績と課題

1. ニシン稚魚の檜山管内100万尾放流の継続

檜山全域へ100万尾放流を行い、江差海域へ16万6千尾放流。

2. サケ海中飼育用種苗生産への支援

江差町へサケ海中飼育用種苗として、200万尾のサケ稚魚を配布。

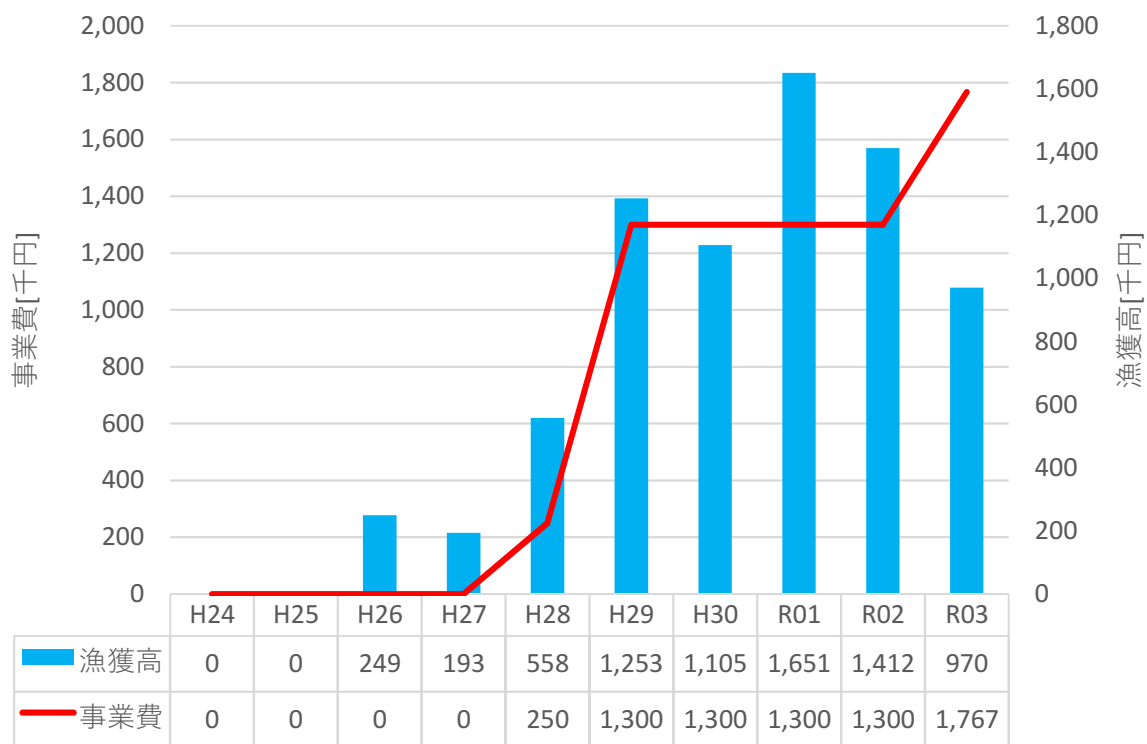
今後について

上記のとおり、檜山管内各町と情報共有、連携し支援を継続していく。

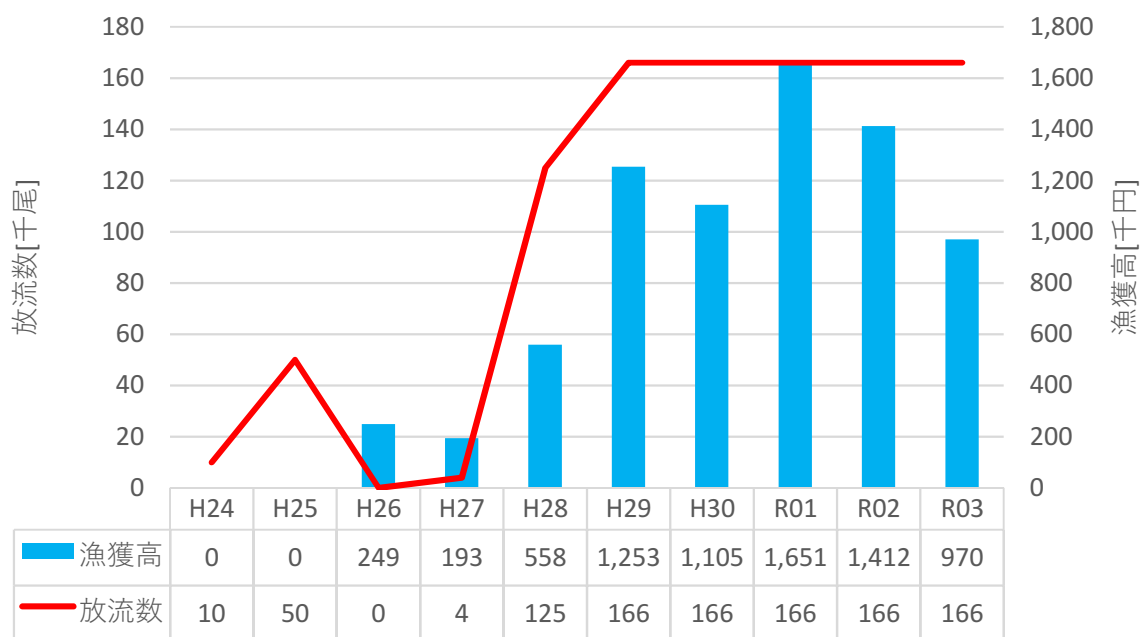
事業名	広域的漁業生産基盤の確立	指標名	水産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

見える化資料

年度別 漁獲高及び事業費（ニシン）



年度別 漁獲高及び放流数（ニシン）



事業名	販売戦略の推進	指標名	農産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

事業概要

- (1) アスパラガスの株の更新及び老朽ビニールハウスの改修
- (2) 農畜産物の付加価値向上
- (3) 地産地消・地産外消の推進

実績と課題

- (1) 青年等就農計画（新規就農）で立茎アスパラガス3棟の栽培計画を認定
- (2) 施設園芸作物栽培ハウスの補修に伴う補助を実施
- (3) 軽トラ市やインターネット販売、ふるさと納税返礼品の取り扱いを実施
- (4) ブロッコリーの作付および販売額は順調に推移しているものの、アスパラガスはR2に団地を解散したことで販売額が減少

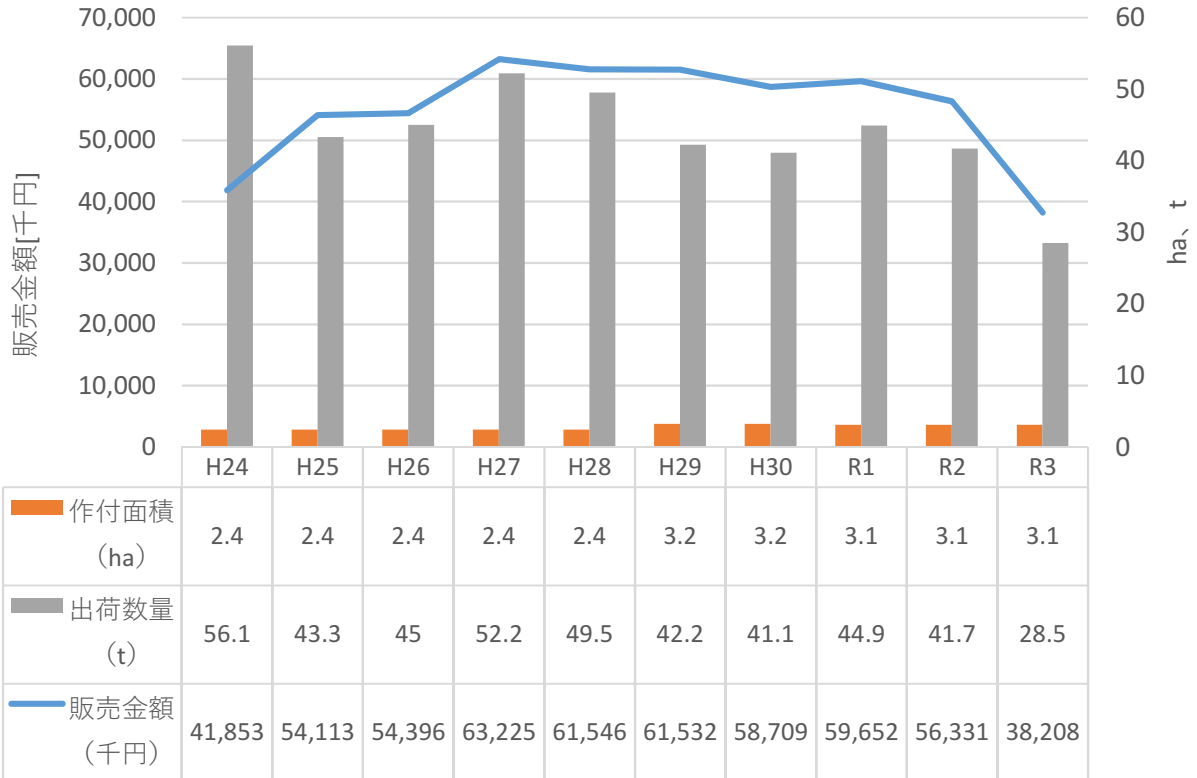
今後について

- (1) 解散したアスパラ団地からのハウス移設により栽培の再開を推進（豊かな産地づくり総合支援事業）するほか、新規就農でのアスパラガス栽培面積の拡大を図る。
- (2) ふるさと納税でのアスパラガスの継続した取り扱いで高単価での出荷を促す。

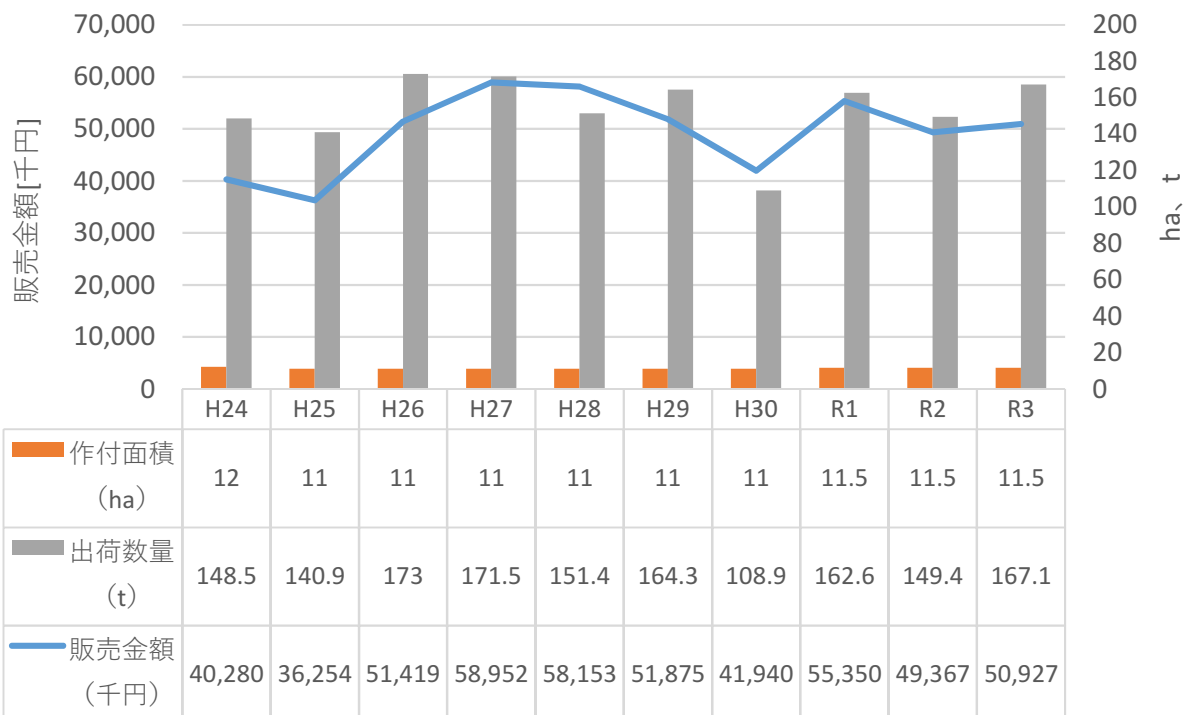
事業名	販売戦略の推進	指標名	農産物販売額（1人あたり）
		担当課	産業振興課

見える化資料

年度別 アスパラガス生産販売状況



ブロッコリー生産販売状況



事業名	農地流動化対策の推進	指標名	農地集積率（「人・農地プラン」に掲げる中心経営体への集積）
		担当課	産業振興課

事業概要

（指標名：農地集積率）

- (1) 認定農業者及び中心経営体への利用集積の推進
- (2) 生産ほ場の集約化
- (3) 江差町農地流動化促進事業の実施

実績と課題

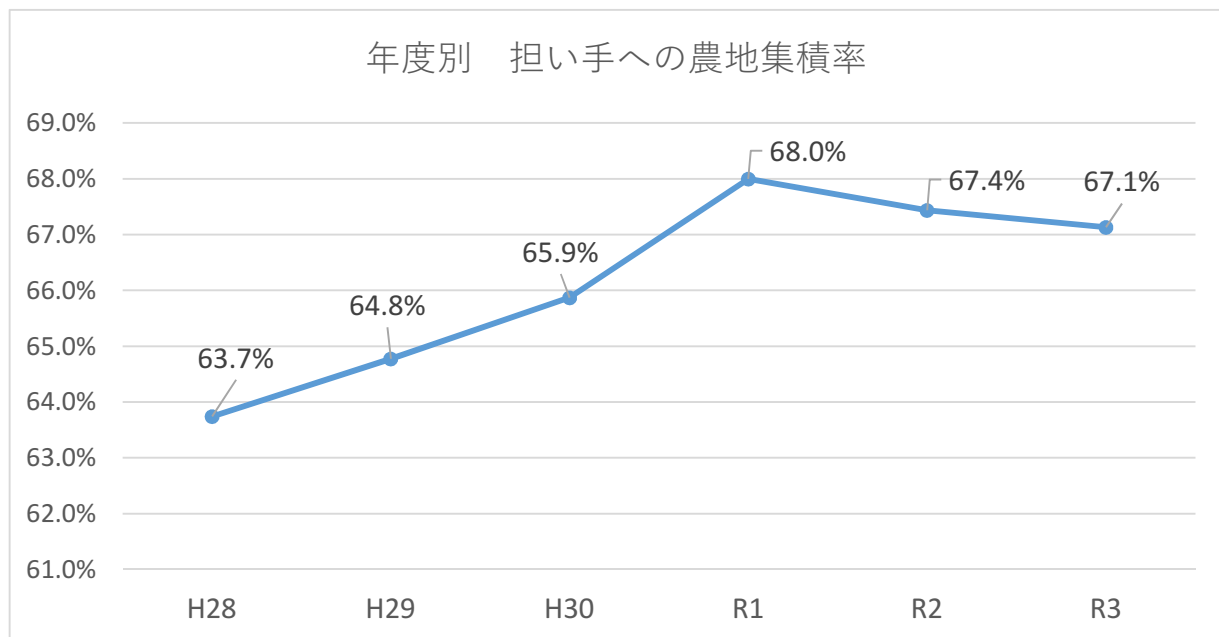
- (1) 担い手への集積率：67.1%
担い手への集積率は0.39%増加したが、一部担い手の死亡により集積率が0.42%減となったため、トータル-0.3%の減となった。
- (2) 経営所得安定対策で令和4年度から5年間水稲作付をしないほ場は転作を行っても産地交付金の交付対象外となる方針が示された。
5年間転作で産地交付金を受け取って離農するケースが想定され、担い手への集積及び基盤整備事業に悪影響を及ぼす可能性がある。

今後について

- (1) 従前の農地流動化促進事業のほか、北部地域基盤整備事業（道営土地改良事業）にて担い手への集積を推進する。
- (2) 担い手へスムーズに集積できるよう、担い手対策や基盤整備事業とあわせて農業者間の議論・認識を深める。

事業名	農地流動化対策の推進	指標名	農地集積率（「人・農地プラン」に掲げる中心経営体への集積）
		担当課	産業振興課

見える化資料



担い手への農地利用集積状況

単位：ha

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
耕地面積 (A)	1,070.00	1,070.00	1,080.00	1,090.00	1,080.00	1,080.00
担い手への集積面積 (B)	682.04	693.09	711.38	741.15	728.28	725.01
認定農業者	527.45	529.39	569.02	571.26	587.77	590.96
他市町村の認定農業者	122.41	121.92	112.05	111.14	113.96	115.07
認定新規就農者	10.19	20.00	12.19	9.53	0.00	2.95
基本構想水準到達者	21.99	21.78	18.12	49.22	26.55	16.03
集積率 (B/A)	63.7%	64.8%	65.9%	68.0%	67.4%	67.1%

事業名	博物館活動の推進	指標名	観光入込客数
		担当課	社会教育課

事業概要（実施計画と連動）

1. 旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）の展示を町民と意見交換しながら更新
2. 調査研究を充実し、展示だけでは表現しきれない歴史文化資源を開設シートを作成し配布
3. 旧江差駅関連の展示新設

実績と課題（実施計画と連動）

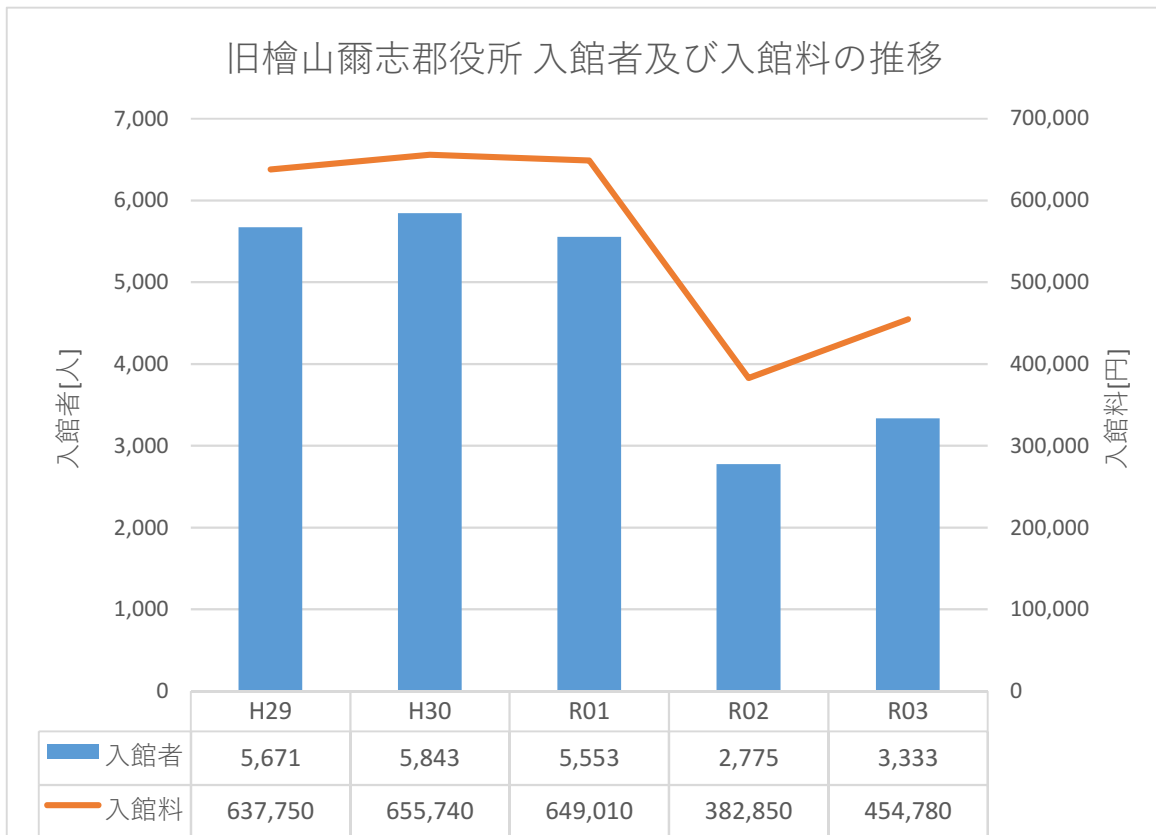
1. 展示内容の更新及び多言語化
2. 展示更新による周知及び公開
3. 旧江差線展示の新設
4. 開設シートの作成・配布

今後について（実施計画と連動）

1. 展示内容の更新
2. 各種企画展の開催

事業名	博物館活動の推進	指標名	観光入込客数
		担当課	社会教育課

見える化資料



ニシン漁 Herring Fishing

History and cultural properties born from the geography of Esashi such as Kamayama Island

日本海に面した江差では、江戸時代中期から明治時代後期にかけてニシン漁が盛んだった。獲ったニシンは食用だけでなく肥料などに加工され、北前船によって本州各地で売られた。江差では、いまでも三平汁やニシン漬けなどニシンを材料とした郷土料理が伝わっている。

In Esashi, which faces the Sea of Japan, herring fishing was actively carried out from the 17th century to the end of the 19th century. The caught herring was processed not only for food but also for fertilizer, and was transported to various parts of Japan's main island, Honshu, by the Kitamaebune merchant ships. In Esashi, local herring dishes such as Sanpei soup and pickled herring have been passed down from generation to generation.



【展示紹介の多言語化】

【旧江差線資料の展示】

事業名	全体的な土地利用の推進	指標名	空き店舗利活用件数
		担当課	総務課

事業概要

住宅地における空き家対策の推進として（1）危険空き家の解体の促進、（2）空き家バンク登録制度などによる利活用の促進。

（1）危険空き家の解体の促進

老朽化又は台風等の自然災害により建物その他の工作物が倒壊し、又はその一部が飛散する恐れのある危険な空き家を「特定空き家」として認定し、解体等も含め所有者等に適切な管理を促す。

（2）空き家バンク登録制度などによる利活用の促進

空き家バンク登録制度を創設し、再利用できそうな空き家を活用する体制を整える。

実績と課題

【実績】

（1）「特定空き家認定通知」については2件発送、特定空き家所有者等に対する「助言・指導書」の発送はなかった。

（2）空き家バンク制度策定に向けた庁内調整ができなかった。

【課題】

（1）空き家所有者が解体費用を工面することが難しい。

（2）代執行により空き家を解体した場合、所有者が不明などで費用が回収できないことが想定される。

（3）庁舎内検討委員会を開催し、関係各課で空き家バンク（利活用）を検討する必要がある。（H29時点で空き家バンク候補162件）

（4）土地家屋調査士、建築士など学識経験者の活用も検討。

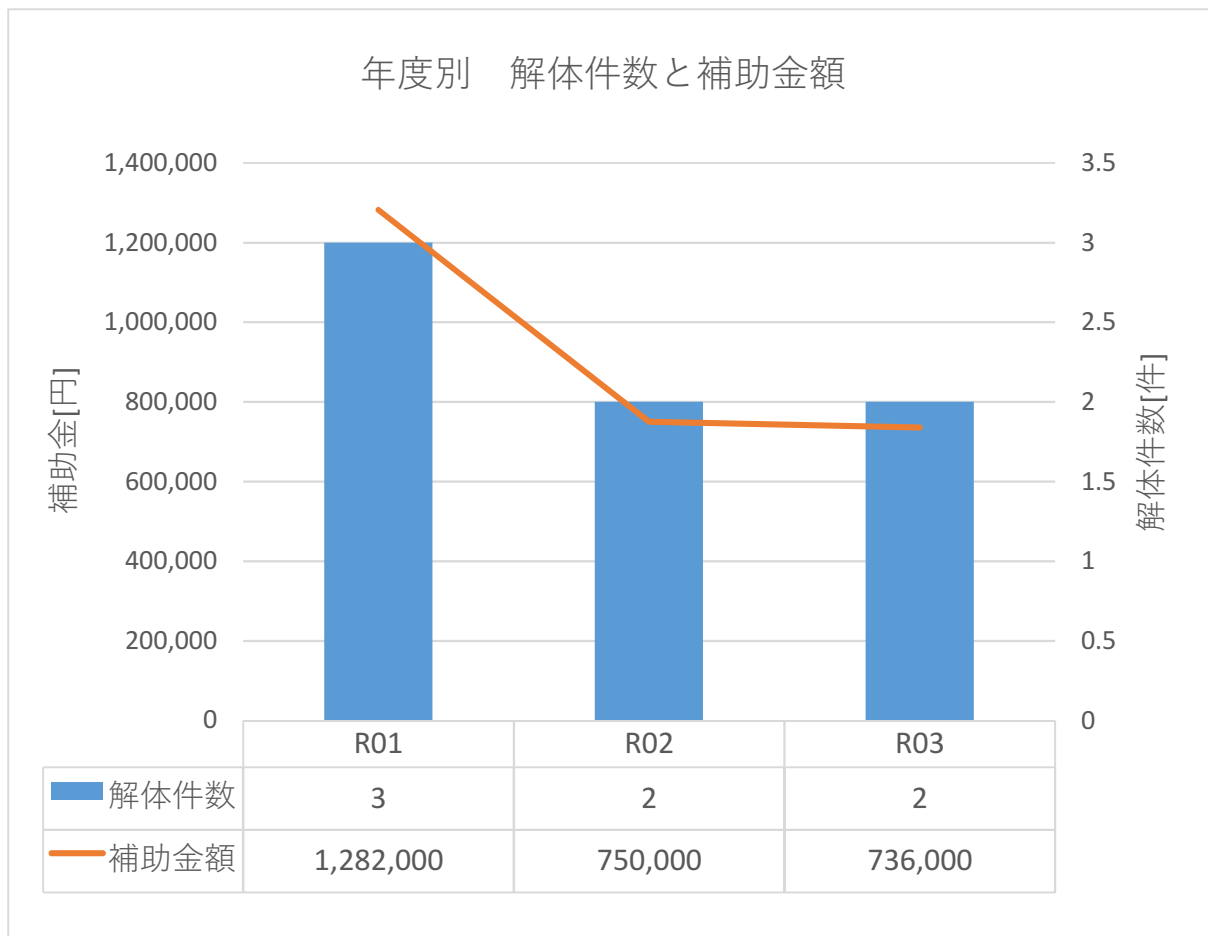
今後について

（1）助言・指導書を発送したが、改善措置を行わなかった所有者に対し「勧告」を通知し、それでも改善されない場合は所有者に対し「命令」の措置を通知する。

（2）関係各課や土地家屋調査士、建築士など学識経験者を活用し、空き家バンク（利活用）制度策定に向け、体制を構築する。

事業名	全体的な土地利用の推進	指標名	空き店舗利活用件数
		担当課	総務課

見える化資料



【空き家所有者等に対する文書発送件数】

通知の種類	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特定空き家認定通知	26	1	2
助言・指導	0	6	0
勧告	0	0	0
命令	0	0	0

事業名	・ふるさと納税の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
	・地場資源を活用した工業振興の支援	担当課	まちづくり推進課

事業概要

江差の地場資源を活用した新商品の開発件数の増加を目的に下記施策を実施

(1) ふるさと納税制度に係る新商品開拓

ふるさと納税は応援したい自治体に対して寄附ができる制度で、寄附者は寄付金額に応じて税控除を受けられるだけでなく、寄附した自治体の名産品などのお礼品を受け取ることができる。

ふるさと納税による寄附を受けるためには魅力的な名産品の有無は必須条件であり、新たな返礼品の開拓のため、関係課との連携や事業者との情報収集している。

(2) まちづくり推進交付金

地域の雇用の創出や産業基盤の強化、交流人口・関係人口の増加、地域の活性化等、「みんなで作る自分たちごとのまちづくり」に資する各種の取り組みに対し交付金を交付する事業。本交付金には新商品開発に係るメニュー2つ（「地域ブランド等開発等支援事業」、「ふるさと納税返礼品拡大支援事業」）あり、それぞれのメニューを通して新商品の開発に係る経費負担を軽減し事業者を後押ししている。

実績と課題

①ふるさと納税制度に係る新商品開拓

新たなふるさと納税返礼品として48品追加となった。（詳細は見える化資料のとおり）

②まちづくり推進交付金

「地域ブランド等開発等支援事業」を活用した事業は下記2件

- ・ニシンの甘露煮等パッケージ作成
- ・江差産アロニア商品拡大事業

「ふるさと納税返礼品拡大支援事業」を活用した事業は下記2件

- ・ななつぼし等パッケージ作成
- ・寒海苔パッケージ等作成

ふるさと納税における新規返礼品の発掘やまちづくり推進交付金を活用した新商品の開発は伸びており、それに付随して寄付金額も伸びている（前年度と比較して20,397千円）。ただし、供給量が少ない商品もあり安定した供給体制の確保または安定供給できる新規商品の発掘が課題である。

今後について

引き続き、供給量増加及び消費者の間口を広げることを目的に新規商品開発を支援できる事業を実施していくと共に、需要喚起を目的としたふるさと納税におけるPRを実施する。

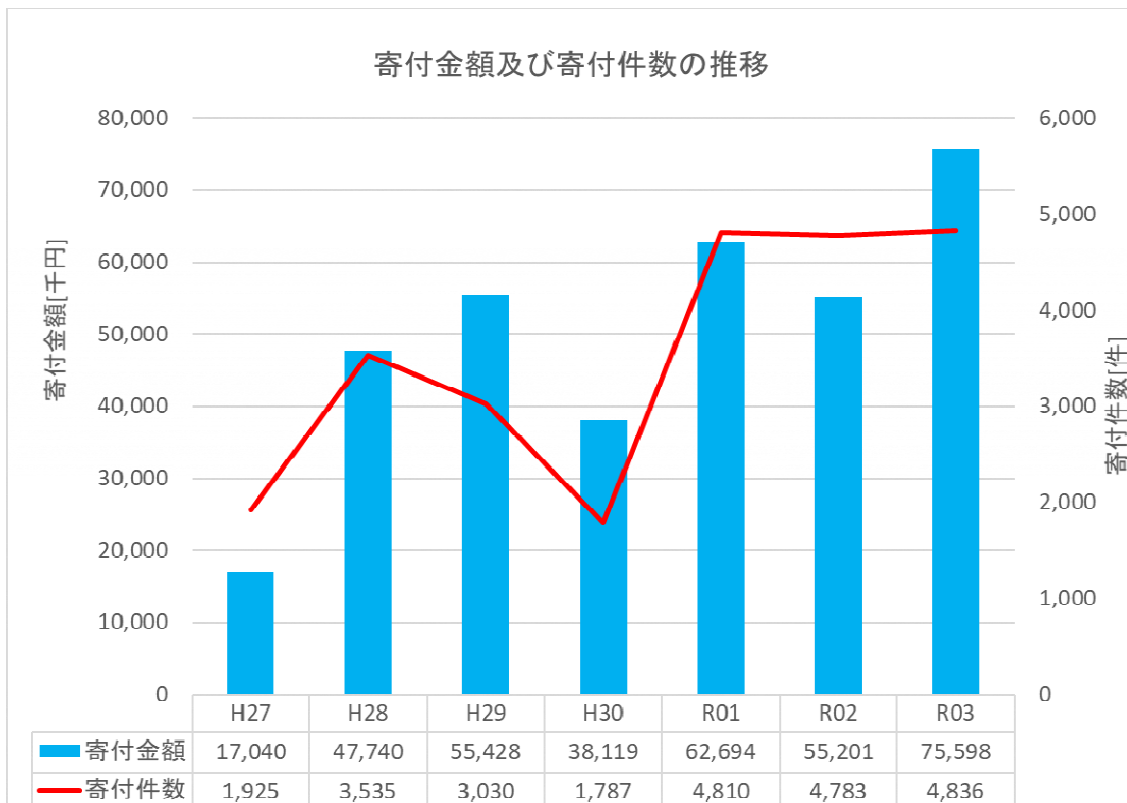
事業名	・ふるさと納税の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
	・地場資源を活用した工業振興の支援	担当課	まちづくり推進課

見える化資料

令和3年度 ふるさと納税－新規返礼品

事業者	新規返礼品
幸栄丸 若山水産	シマエビとガサエビセット
藤谷漁業部	神経メ本マス(切身、ルイベ、半身)、寒海苔セット、 いぐらの醤油漬け、塩鮭の切身、数の子
ひやま漁業協同組合	活アワビ、煮アワビ、アワビの酒蒸し、寒海苔
えさし水土里の会	米(ななつぼし、ゆめぴりか)、メークイン、豆漬け、 黒大豆おこわの素
江差特産品推進会／ねむの木	八割そば、にしんそば、アロニアキャンディ
畠山農園	フルーツマト「フルティカ」
坂本製麺所	ラーメン
五勝手屋本舗	口取り(折詰)
ぷらっと江差	貝がらサブレ2箱
木どりやカンナヅキ	スピーカー、指圧棒
(株)ヴーム	黒豆甘納
あすなる福祉会	非常備蓄食料
江差観光コンベンション協会	姥神大神宮祭グッズ
ぱんやベッキー	シュトーレン

寄付金額及び寄付件数の推移



事業名	・ふるさと納税の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
	・地場資源を活用した工業振興の支援	担当課	まちづくり推進課

見える化資料

直近3か年のまちづくり推進交付金を活用した新商品開発

年度	事業者	新商品	活用メニュー
R01	江差特産品推進会	アロニアこうれん販路拡大に係る備品整備	地域ブランド開発等支援事業
R01	江差ナマコ協議会販売促進部	江差産赤ナマコパッケージ作成	地域ブランド開発等支援事業
R01	(株)北前水産	江差産紅ずわいがにパッケージ作成	地域ブランド開発等支援事業
R02	畠山 克朗	フルーツマト「フルティカ」パッケージ作成	ふるさと納税返礼品拡大支援事業
R02	(有)グリーンネット・恵	江差産いちご活用商品パッケージ作成	地域ブランド開発等支援事業
R03	藤谷漁業部	ニシンの甘露煮、ぬか漬けパッケージ作成	地域ブランド開発等支援事業
R03	合同会社クワイイト北海道	江差産アロニア商品拡大事業	地域ブランド開発等支援事業
R03	えさし水土里の会	「ななつぼし」「ゆめぴりか」パッケージ作成	ふるさと納税返礼品拡大支援事業
R03	江差海苔採取団体	寒海苔のパッケージ作成、袋の改良等	ふるさと納税返礼品拡大支援事業

事業名	・ふるさと納税の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
	・地場資源を活用した工業振興の支援	担当課	まちづくり推進課

見える化資料

江差の地場資源を活用した新商品の開発件数(H28~R03)

年度	開発した商品	事業者名
H28	江差産いちごを活用した新商品開発（いちごパイほか）	(有)グリーンネット恵
H28	江差追分まんじゅうパッケージ作成	前田製菓
H28	木工品ロゴデザインほか	檜山地域工芸品普及促進会
H29	商品ロゴ・パッケージデザイン等	そば辰ゆがの会
H29	江差産いちごを活用した新商品開発（もちもちシューほか）	(有)グリーンネット恵
H29	アロニアジャムの商品化	水堀フラワージャム工房
H29	江差産キウイを活用したアイス	江差特産品促進会
H29	江差産紅ずわいがに商品のパッケージデザイン作成	(株)北前水産
H29	フリーズドライナマコ商品開発	ひやま漁協江差産ナマコ協議会販売促進会
H29	江差産黒のりパッケージ	江差海苔採取団体
H30	江差産紅ずわいがに生冷ポーションパッケージデザイン作成	(株)北前水産
H30	アスパラガス商品のパッケージデザイン作成	えさし水土里の会
H30	江差産いちごを活用した新商品開発（いちごのマスカルーネほか）	(有)グリーンネット恵
R02	アロニアこうれん開発	江差特産品促進会
R02	江差産紅ずわいがに脚セットのパッケージ作成	(株)北前水産
R03	活アワビ	ひやま漁業協同組合あわび養殖漁業モデル推進事業
R03	ニシンの甘露煮パッケージ作成	藤谷漁業部
R03	ニシンの糠漬けパッケージ作成	藤谷漁業部
R03	江差産アロニア商品拡大事業（アロニアキャンディー）	合同会社クリエイト北海道
R03	「ななつぼし」パッケージ作成	えさし水土里の会
R03	「ゆめびりか」パッケージ作成	えさし水土里の会
R03	寒海苔のパッケージ作成、袋の改良等	江差海苔採取団体

計 22件

事業名	・ふるさと納税の推進	指標名	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数
	・地場資源を活用した工業振興の支援	担当課	まちづくり推進課

見える化資料

ふるさと納税ポータルサイト上での新商品PR 一部抜粋



箱入り娘
低温保管玄米 発送前精米

北海道産 江差追分米
ななつぼし 5kg



紅ずわいがに
北海道檜山沖カニかこ漁 500g

漁師直販
おき身だからはずれなし

厳格な鮮度管理で
紅ズワイ本来の味をお届けします



箱入り娘

秋に収穫したお米を
予冷庫のなかで玄米のまま
大事に低温保管

新米の鮮度と風味、うま味を
そのまま閉じ込めています

発送前に精米するから味わえる
市販の米とは違う新鮮なお米の美味しさ

春には、ひと冬越して甘みが増した
農家だけが知っている越冬米の味も楽しめます



ギフト・ご贈答にもご利用いただける
特製ボックスでお届けします

かに爪 500g

脚むき身 500g

ふるさと納税



ななつぼし

バランスに優れた味わいと冷めてもおいしいという
特徴から、食卓はもちろんお弁当などでも広く活用
される、北海道では最も食べられている品種。CMも
好評で道外での人気も上昇しています。

品種の特徴

外 観	粒形が崩れにくく、つやもよい。
甘 み	ほどよい甘みで、冷めてもおいしさ長持ち。
粘 り	ほどよい粘り。
メニュー適性	お弁当やお寿司、和食、朝ごはん。
総 評	味と食味のバランスがよく、北海道米の中で最も生産量が多い品種。無洗米としての適性にも優れています。

出典 インターネットサイト「北海道米LOVE」 <https://www.hokkaido-kome.gr.jp/>



獲れたての鮮度を守る冷凍技術
カニを握り水の膜（グレース）が
酸化や乾燥を防ぐ真空包装の
役目を果たしています

脚むき身 500g

解凍方法

お召し上がりの直前に「流水解凍」

- ①ボウルに水を張り、凍ったカニを袋ごと漬け、上から流水を流す。
- ②5～10分で、袋のうえからカニの身を触り状態を確認する。
- ③表面がやわらかく、中心が固い「半解凍」状態が食べ頃です。

※解凍しすぎると風味を損ないますのでご注意ください。家庭用レンジや室温での解凍および再冷凍はおやめください。

江差の海で獲れた大事なニシンを、江差の「浜のかあさん」たちが丁寧に加工しました

《北海道産》江差前浜産にしん使用 江差のニシン三種セット 鱈にしん2本・丸干し2本・甘露煮1袋(半身3枚入) 浜のかあさん手づくり 江差の漁師めし 伝統の味 焼き魚 三平汁 にしんそば

江差前浜産にしん使用 ぬかにしん・丸干し・甘露煮

江差のニシン三種セット

漁師めし

大きなニシンを浜のかあさんたちが丁寧に加工しました

Q 画像を拡大する

お支払い額 **6,000** 円
以上の寄付でもらえる

数量: 1 : 在庫: あり

ファスト寄付で申し込む 寄付へ進む

> ファスト寄付とは?

> 温める使い道

> 対応している決済方法

> お問い合わせ先